

閱 覧 設 計 書 （ 電 子 入 札 ）

工 事 名	配水管布設工事 第8号		
工 事 箇 所	矢板市長井地内		
工 期	令和9年3月26日		まで
予 定 価 格 (税 抜)	¥59,250,000. -		

開 札 日	令和8年10月26日	時間については、告示または入札通知書により確認のこと	
閱 覧 期 間	令和8年10月2日	～	令和8年10月23日
担 当	上下水道事務所		

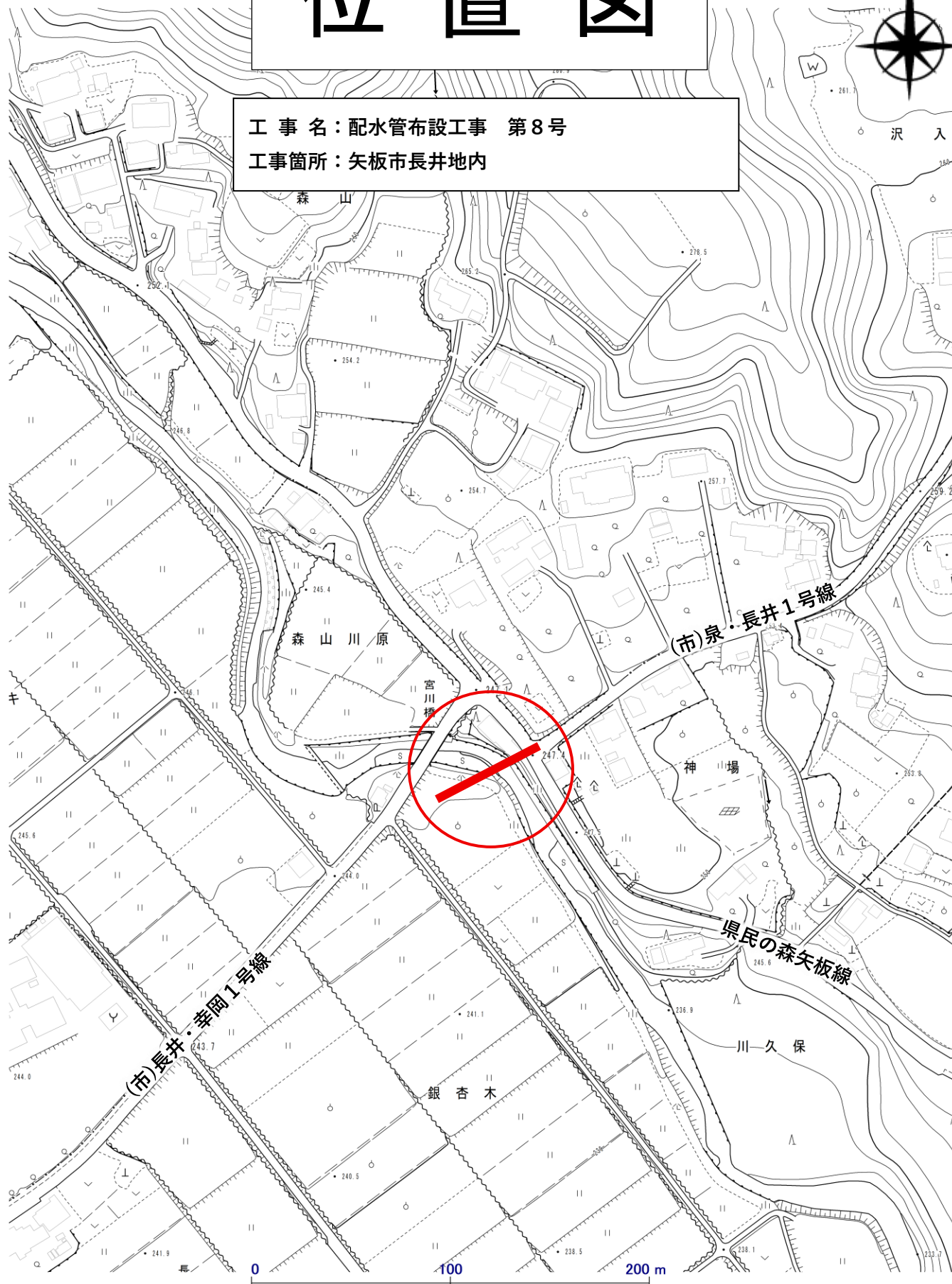
そ の 他			
-------	--	--	--

令和8年度	設計 の 理由	市道及び県道道路改良に伴い、本工 事を要す。	工期	R9.3.26 限り	施工 方法	条件付 一般競 争入札																																																	
市 単																																																							
実 施 設 計 書 配水管布設工事 第8号 矢板市長井地内 工事延長 L=108.35m 設計概要 <table><tr><td>配水管布設工</td><td>DIP(GX) φ150</td><td>46.28 m</td></tr><tr><td>配水管布設工</td><td>DIP(GX) φ200</td><td>32.02 m</td></tr><tr><td>橋梁添架水管橋設置工 (L=30.05m)</td><td></td><td>一式</td></tr><tr><td>仕切弁設置工</td><td>φ200</td><td>4 基</td></tr><tr><td>仕切弁設置工</td><td>φ150</td><td>2 基</td></tr><tr><td>レジンコンクリート弁室設置工</td><td></td><td>一式</td></tr><tr><td>土工</td><td></td><td>一式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>								配水管布設工	DIP(GX) φ150	46.28 m	配水管布設工	DIP(GX) φ200	32.02 m	橋梁添架水管橋設置工 (L=30.05m)		一式	仕切弁設置工	φ200	4 基	仕切弁設置工	φ150	2 基	レジンコンクリート弁室設置工		一式	土工		一式																											
配水管布設工	DIP(GX) φ150	46.28 m																																																					
配水管布設工	DIP(GX) φ200	32.02 m																																																					
橋梁添架水管橋設置工 (L=30.05m)		一式																																																					
仕切弁設置工	φ200	4 基																																																					
仕切弁設置工	φ150	2 基																																																					
レジンコンクリート弁室設置工		一式																																																					
土工		一式																																																					
設計書用紙（乙） 栃 木 県 矢 板 市																																																							
工事金額 金 円 内 訳 工事価格 金 円 消費税相当額 金 円																																																							
予 算 額		増減額	予 算 額 に対する 増 減 額		理 由																																																		
査 定 額					前 設 計 額 請 負 額 に 対 す る 増 減 額																																																		
実施 前回	設計額																																																						
	請負額																																																						
	請負率																																																						
今回 変更	設計額																																																						
	請負額																																																						

位置図

工事名：配水管布設工事 第8号

工事箇所：矢板市長井地内



施 工 条 件 書

配水管布設工事 第8号（矢板市長井地内）

矢板市上下水道事務所

項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等	項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等
工 事 関 係	・ 占用位置、土被り等、計画に沿って十分注意し、凹凸配管にならぬよう管を布設し、転圧埋め戻し作業を行うこと。 ・ 制水弁筐等は、適切な位置及び高さに設置すること。 ・ 掘削については、道路使用許可（矢板警察署、矢板消防署）をとること。	仮 設 備 関 係	・ 仮設備の構造及び施工方法は、施工計画書に明示したうえで、監督員と協議すること。 ・ 工事表示等保安施設については、所定の位置に設置し、夜間においても遠方から確認できるようにすること。また、常に巡回を行い、安全確認を行うこと。特に交差点付近の工事となる場合は、万全を期すこと。 ・ 掘削深が深くなるところについては、適切に土留め等を設置すること。
工 程 関 係	・ 工事着手前に施工計画書を提出し、監督員と協議すること。 ・ 工事に何らかの支障があり、工程が遅れる場合、監督職員と協議すること。 ・ 近隣住民とよく協議し施工すること。	建設副産物 関 係	・ 建設副産物関係については下記のとおりとする。 1. 建設残土 （1）処分方法： <u>指定処理（B）</u> （2）運搬距離： <u>8.0 km</u> ※捨土処理報告書を作成し、監督員に提出するものとする。 ※日曜、祭日、夜間の捨土は原則禁止とする。 2. 建設廃材 （1）A s ・ C o 塊 （2）運搬距離： <u>12.9 km</u> ※塊は30cm未満に破壊し、中間処理施設に搬入すること。 （1）A s 切削汚泥 （2）運搬距離： <u>21.4 km</u> ※廃材処理報告書を作成し、監督員に提出するものとする。 ※建設廃棄物処理委託契約を処理業者と締結し、契約書の写しを建設副産物処理承認申請書に添付すること。 ※マニフェストE票の写しを竣工図書に添付すること。 ・ 再生資源利用〔促進〕計画書の提出 - 工事を実施するにあたり、再生資源利用〔促進〕計画書を施工計画書に添付するものとし、計画書の実施状況については、再生資源利用〔促進〕実施書を作成して、工事完了後速やかに実施書及びC D－Rを発注者に提出すること。 - なお、監督員の承諾を得て、施工計画書を省略する場合においても、再生資源利用〔促進〕実施書等については、提出するものとする。 - また、再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）の作成にあたり、再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）入力システムを利用するものとする。
用 地 関 係	・ 測量杭、境界杭等（白杭、青杭）は、工事車両、建設機械等で動かさぬよう確実に養生すること。（施工上、支障となる場合は、控えをとること。） ・ 施工上、個人の土地に立ち入らなければならない場合は、土地所有者の許可を得ること。		
公 害 対 策 関 係	・ 作業中の騒音、振動については、できる限り配慮すること。 ・ 原則として日曜、祭日等の作業は避けること。 ・ 残土運搬時、路上に落ちた土砂等の清掃を行うこと。（特に搬入先の路上） ・ 当該工事により、付近の家屋、工作物等に被害を及ぼす恐れがあるところは、着工前に外観調査（写真等を含む）を行うこと。		
安 全 対 策 関 係	・ 施工の安全確保の徹底を図るため、作業員全員による定期的な教育、訓練等を実施すること。（労働災害防止） ・ 工事車両の出入り口及び建設機械の旋回には、誘導員を配置すること。 ・ 交通車両及び歩行者の安全対策には、特に留意し、必要に応じ交通誘導員の配置を行うこと。（第三者に対する安全対策） ・ 交通整理員を延べ12人見込んでいる。		
安 全 訓 練	・ 工事期間中、安全・衛生に関する研修・訓練等を月1回（半日）以上実施すること。 ・ K Y 日報を作成し、竣工図書に添付すること。		

施 工 条 件 書

配水管布設工事 第8号（矢板市長井地内）

矢板市上下水道事務所

項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等	項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等
工事用道路 関 係	・住宅等に車が入り出すときは、速やかに通行を確保すること。 ・片側通行、全面通行止め等で施工する場合、所轄の警察署の許可及び矢板消防署、郵便局等の同意を得ること。 ・迂回路の場合、案内看板等を設置し、安全確保のため常に巡回すること。	排水口（濁 水処理含） 関 係	・地下水は、水路等への放流により適切に処理し、周辺を汚さないこと。 ・工事による廃油、廃材等については、絶対に河川等に流さないこと。
支障物件等	・地下埋設物や他の公共施設等との離隔は、30cm以上確保すること。 ・地下埋設物（上水道管、N T Tケーブル、電力ケーブル、防火水槽など）については、工事着工前に図面等により確認し、施工時には管理者の立会いを依頼すること。 ※上下水道事務所 下水道担当 0 2 8 7 - 4 4 - 1 5 1 1 ※N T T 栃木サービスセンター 0 1 2 0 - 2 0 4 - 4 6 2 ※東京電力カスタマーセンター 0 1 2 0 - 9 9 - 5 1 1 2 ※矢板警察署 0 2 8 7 - 4 4 - 0 1 1 0 ※矢板消防署 0 2 8 7 - 4 4 - 2 5 1 1	そ の 他	・本工事は、水道工事標準仕様書、土木工事共通仕様書、土木工事必携及び公共工事品質確保の手引きを準用すること。 ・特記仕様書を遵守すること。 ・ダクタイル鋳鉄管の施工要領に基づき施工すること。 ・給水装置工事については、矢板市の指定する給水装置工事事業者が施工することとし、これについて下請業者等により施工する場合は、施工前に発注者へ届けでること。 ・主任技術者は、2級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者を充てることとする。 ・本施行箇所は、工事のため発注者の協議した道路占用許可条件に合わせて施工すること。 ・平成24年度より、工事竣工図書の一部（工事竣工図、管路弁栓調書・工事写真）を電子納品とするので、図書作成については、監督員と協議し、指示に従うこと。 ・工事着手時に起工測量を行い、設計図書と現場との照査を行い、監督員に報告すること。 ・道路復旧については、交通の支障とならないよう速やかに復旧すること。 ・水道資材の発注は必ず、監督員と協議したのち発注すること。 ・施工前に必ず、監督員と現地確認を行うこと。 ・隣接工事がある場合は、適切に協議し工事を行うこと。 ・隣接の道路改良工事の進捗によっては、工期を変更する場合があります。
過積載防止	・ダンプトラック過積載による違法運転の防止実施要領により、下記のことについて遵守すること。 (1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積込ませないこと。 (2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積込ませない。 ※不表示者とは「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（「ダンプカー規正法」）第4条における表示義務違反車をいう。 (3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係にあるダンプカー事業者が過積載を行う場合、または、さし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5) 建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たって、下請業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6) 以上のことにつき、下請け業者にも十分指導すること。		

(別紙 5)

捨 土 処 理 報 告 書

令和 年 月 日

矢板市水道事業管理者
矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

捨土処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類 写真（処理前後）、位置図

(別紙 6)

廃材処理報告書

令和 年 月 日

矢板市水道事業管理者
矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

廃材処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類

写真（中間処理施設看板、廃材幅管理）、位置図
中間処理施設入荷証明

特 記 仕 様 書

1. 本工事の主任技術者は、次に掲げる資格を有する者を当てなければならない。

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を二級の建設機械施工管理又は、二級の土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。

(2) 技術法（昭和32年法律第124号）による本試験のうち技術部門を建設部門、農業部門（選択科目「農業土木」とするものに限る。）とするものに合格した者。

なお、主任技術者等の通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの（写しでもよい）を添付すること。

特 記 仕 様 書

1. ダクタイル鋳鉄管耐震継手管（G X形管）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表－1 の資格を有する者とする。

表－1 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
500mm未満のダクタイル鋳鉄管耐震継手管（G X形管）を含む工事	公益社団法人日本水道協会の配水管技能者登録	「耐震登録」又は「耐震継手」
	一般社団法人日本ダクタイル鋳鉄管協会の継手接合研修会の受講証を有する者	「耐小」（耐震管φ450以下）

※配水管工技能講習会（公益社団法人日本水道協会主催）受講修了者に交付される登録証の有効期限は発行日から5年間。有効期限を迎える登録証は更新手続きが必要。

2. 水道配水用ポリエチレン管（PEP，HPPE）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表－2 の資格を有する者とする。

表－2 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
水道配水用ポリエチレン管を含む工事	配水用ポリエチレンパイプシステム協会の配管施工講習会（配水管用）の受講修了者又は旧団体（「水道用ポリエチレンパイプシステム研究会」「配水用ポリエチレン管協会」）の施工講習会の受講修了者。また、これと同等のメーカー（積水化学工業(株)、(株)クボタシーアイ）が実施する講習会を受講し、受講証を取得した者	

3. 配水管から分岐し、給水装置工事を施工する場合は、水道法施行規則第 36 条に基づき、給水装置工事主任技術者及び技能者を適正に配置すること。

電 子 納 品 に 関 す る 特 記 仕 様 書

(建 設 工 事)

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、当該工事（以下「本工事」という。）の最終成果品を電子納品の対象とし、そのために必要な事項について定めるものである。

(電子納品)

第2条 電子納品とは、本工事の最終成果を電子データで納品することをいう。

ここでいう電子データとは、「電子納品運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。

(成果品の提出)

第3条 成果品の提出の際には、国土交通省チェックシステム及びウィルス対策ソフトを利用してチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、電子媒体に格納することとする。提出物は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副各1部、計2部とする。

なお、電子納品の対象外とした書類は、従来通り紙で納品する。

「ガイドライン」で特に記載のない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、監督職員と協議の上、電子化を決定する。

また、紙による書類の提出は必要最小限とする。

(成果品の保管)

第4条 請負者は、発注者に提出する電子媒体に格納したデータを、バックアップとして請負者のハードディスク等に保管し、その保管年数は10年間を原則とする。

(成果品の確認)

第5条 請負者は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）提出時において、電子データが「ガイドライン」に基づき作成されていることを、監督職員の立会いのもと確認する。

なお、電子データの検査方法については、別途協議のうえ決定する。

(その他)

第6条 請負者は、本工事の実施にあたり内容に疑義が生じた場合には、速やかに監督職員と協議し、その指示を受けなければならない。

事前協議 チェックシート

(建設工事)

(様式 1)

[illegible]

様式2

電 子 媒 体 納 品 書

矢板市水道事業管理者

矢板市長 様

請負者（受注者）

住 所

氏 名

（担当者）

印
印

下記のとおり電子媒体を納品いたします。

記

工 事 名 (業務委託名)			契約番号			
工事場所 (委託場所)	矢板市 地内		TECRIS・CORINS 登録番号			
電子媒体の種類		規 格	単 位	数 量	作成年月日	備考
			枚		令和 年 月 日	
【適用】						

【発注者側記載事項】

受領者及び保管場所

担 当 課	上下水道事務所 水道担当	職氏名	印
保 管 場 所			

矢板市水道工事水圧試験標準仕様書

この仕様書は、矢板市上下水道事務所発注の水道工事における水圧試験について定めたものである。他の項目については、日本水道協会発行『水道工事標準仕様書』を準拠する。

- 1 受注者は配管終了後、継手の水密性を確認するため、管路の水圧試験を行わなければならない。
- 2 試験を行う場合は、監督員と事前に日時を協議し立会いのもと実施すること。
- 3 試験方法は管内充水方式とし、布設したダクタイル鋳鉄管、水道配水用ポリエチレン管及び水道用ポリエチレン二層管を 0.75Mpa で加圧し 1 時間後の水圧が 0.6Mpa 以上保持していれば合格とする。
- 4 管内への充水は一昼夜程度かけ、管内へ侵入した空気を十分に排気することが望ましいが、管径や配管形状、地理的な条件により変動するため、監督員と協議し決定すること。
- 5 試験値が合格値を下回った場合、管路や弁栓類を点検し充水作業後、再試験を行わなければならない。
- 6 試験器の取付け位置は、配管端部に取付けた管栓及び管栓帽又は消火栓とする。
- 7 試験器は自記録式又はデータログ式とする。自記録式ではチャート紙を使用し、データログ式ではチャート紙形式でデータを出力すること。なお、自記録式のチャート紙は 1 時間用又は 4 時間用を使用すること。
- 8 成果物はチャート紙と記録写真を提出することとし、記録写真のみは不可とする。
- 9 水道配水用ポリエチレン管の試験は EF 接合後 1 時間以上経過してから行うこと。
- 10 水道配水用ポリエチレン管の試験については、予備加圧（0.75Mpa で加圧し 10 分間放置）後に試験を行うことも可とする。
- 11 管径 900 mm 以上の鋳鉄管継手ではテストバンドを使用した水圧試験とし、試験方法は日本水道協会発行『水道工事標準仕様書【土木工事編】』に記載のとおりとする。

※試験器及び接続部材は受注者が用意すること。

※試験に使用する管栓や管栓帽は発注者が貸与するが、工事が重なり、受注者の求める日時に貸与できない場合がある。この時、受注者の都合で試験を実施する場合は、受注者の負担で部材を用意すること。

特記仕様書 配水管布設等施工管理

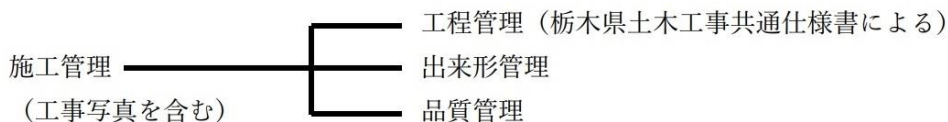
1 目的

この管理基準は、矢板市水道事業が発注する水道工事（配水管布設工事）の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

ただし、この基準に定めのない舗装工事、土木工事等における施工管理は「栃木県土木工事共通仕様書」により、またこの基準に定めのない配水管布設工事における施工管理は「水道工事標準仕様書（(公社)日本水道協会）」により、給水管布設工事における施工管理は「矢板市給水装置設計施工指針」によるものとする。

2 構成

施工管理の構成は、下記のとおりである。



3 管理の実施

- (1) 請負者は、工事施工前に、施工管理計画及び施工管理担当者を定め、当該計画書を提出する。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行う。
- (3) 請負者は、測定（試験）等を工事の施工と並行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施する。
- (4) 請負者は、測定（試験）等の結果をその都度逐次管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出する。
- (5) 請負者は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況等を写真管理基準により撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

4 規格値

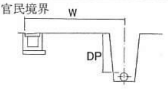
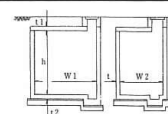
請負者は、出来形管理基準及び品質管理基準により測定した各実測（試験・検査・計測）値は、規格値を満足しなければならない。

以下に「水道工事標準仕様書（日本水道協会）」及び「栃木県土木工事共通仕様書」の一部を抜粋する。設計図書に謳われた管種・工法等必要に応じ、管理項目を追加し施工計画書に記載すること。

●水道工事標準仕様書（日本水道協会）2010年版

出来形管理基準例

単位：mm

工 種	測 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
管の据付	占用位置 W	±30	・路線、口径、管種ごとに、施工延長40mにつき1箇所		
	土被り DP	±30			
管の接合	鋳鉄管 継手	接合要領書による	・口径、管種毎に全接合箇所測定 ・各種継手点検表に記入		
	ビニル管 継手				
	ポリ管 継手				
弁栓類・鉄蓋の据付	路面との段差	段差が無いこと	・全箇所測定		
弁室その他の構造物	弁室（現場打）		・全箇所測定		
	壁 厚 t	-20			
	床版厚 t ₁	-20			
	底版厚 t ₂	-20			
	内空幅 W ₁ , W ₂	-30			
異形管防護工	内空高 h	±30	・全箇所測定		
	幅				
	高 さ	-30			
	辺 長				
	体 積	＋であること			
推進工	基 準 高	±50	・発進坑、到達坑で測定		
	中心線の偏位	左右±50	・20m毎に測定 なお、推進延長が20m以下の場合は、任意で2箇所測定。		
	管 底 高	±50	・20m毎に測定 なお、推進延長が20m以下の場合は、両端で測定		
シールド工（一次覆工）	管 底 高	±50	・5リツ毎に測定		
	中心線の偏位	左右±100			

上記規格値は、参考として調査事業体の代表値を記載した。

なお、上記以外の出来形管理基準については、国土交通省「土木工事施工管理基準及び規格値」を準拠する。

品質管理基準例

別途、矢板市水道工事水圧試験標準仕様書にて規格値を定める。

(一社)日本ダクトイル鉄管協会技術資料により締付けトルクを決定すること。

工種	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要
水圧試験	管路水圧試験	管内に充水し所定の水圧を負荷し、一定時間保持してこの間の圧力変化を測定	管路に漏水等異常が無く、急激な圧力降下が生じないこと	管路工事完了時	4.1.19 参照 原則として監督職員の立会い
	継手部水圧試験	試験水圧 0.5MPa 程度で 5 分保持してこの間の圧力変化を測定	0.4MPa 以上保持	φ900 mm 程度以上の管 接合時において監督職員がこの試験を指示した場合実施	4.1.19 参照
通水準備	遊離残留塩素の測定等	4.1.32 通水準備工による	上流の水道水と遊離残留塩素が同程度	使用開始前	4.1.32 参照 必要に応じ中和剤を添加
管の接合	ダクトイル鋳鉄管継手部接合検査	目視 ノギス等による計測	・各継手部所定の寸法を満たすこと ・ボルトの締め付けトルクを満たすこと	すべての継手接合箇所について実施	4.2.3～4.2.10 参照 チェックシートを使用
管の溶接	放射線透過試験	JIS Z 3104 JIS Z 3050 JIS Z 3106	・きずの分類において 3 類以上 ・内面へこみは、その部分の透過写真濃度がこれに接する母材部分の透過写真濃度を超えないこと ・溶落ちは、いかなる方向に測った寸法も 1 個につき 6 mm 又は管の肉厚のいずれか小さい方を超えず、試験部の有効長さ当たり最大寸法の合計長さ 12 mm 以下とする。	検査箇所数は溶接箇所数の 10% とし、撮影 1 口につき 900 mm 以下は 1 箇所、1000 mm 以上は 2 箇所	4.3.7 参照 WSP008 参照 監督職員の指示で検査箇所増可能
	超音波探傷試験	JIS Z 3060	きずの分類において 3 類以上	検査箇所数は溶接箇所数の 10% とし、撮影 1 口につき 2 箇所 検査長は 30 cm	4.3.7 参照 監督職員の指示で検査箇所増可能
内面塗装 (無溶剤形エポキシ樹脂塗料)	外観検査	JWWA K 157	異物の混入、著しいむら、塗りもれなどがなく、均一な塗膜であること	すべての塗装箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 157	0.4 mm 以上 (プライマーを含む)	監督職員の指示した箇所	4.3.4 参照
	ピンホール	JWWA K 157	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての塗装箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照
	付着性試験	JWWA K 157	へらを用いてはつり、容易にはがれないこと	監督職員の指示した箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照

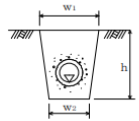
工種	試験項目	試験方法	規 格 値	試験基準	摘 要
外面塗装 (タールエポキシ樹脂塗料)	外観検査	JWWA K 115	異物の混入、著しいむら、塗りもれなどがなく、均一な塗膜であること	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	ピンホール	JWWA K 115	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 115	0.3 mm 以上	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	付着性試験	JWWA K 115	へらを用いてはつり、容易にはがれないこと	監督職員の指示した箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
外面塗装 (ジョイントコート)	外観検査	JWWA K 153	・焼損がないこと ・有害な欠陥となるめくれがないこと ・ジョイントコート両端から 50 mm 以内に膨れがないこと ・工場塗装部との重ね長さは 50 mm 以上 ・耐衝撃シートについては、有害なきずがなく、テープ又は固定バンドで確実に固定されていること	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照
	ピンホール	JWWA K 153	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 153	加熱収縮後のジョイントコートの厚さは、1.5 mm 以上	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照

なお、上記以外の品質管理については、国土交通省「品質管理基準及び規格値」を準拠する。

●栃木県土木工事共通仕様書 平成 31(2019)年版、令和 4 年 4 月一部改訂

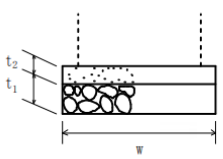
・管路土工、管布設

3	2	3	29	3	側溝工 (暗渠工)	基 準 高 ∇	±30
						幅 w_1, w_2	-50
						深 さ h	-30
						延 長 L	-200

施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所。 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工につき 2 箇所。 (なお、製品使用の場合の、製品寸法は、規格証明書等による。)		3-2-3-29
1 施工箇所		

・砂基礎

3	2	4	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上
						厚 さ t_1, t_2	-30
						延 長 L	各構造物の規格値による

施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		3-2-4-1
---	---	---------

・下層路盤工

3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高 ∇	±40	±50	—	—
						厚 さ	-45	-45	-15	-15
						幅	-50	-50	—	—

基準高は延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起こして測定。幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいう。同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 1,000 m²以上 10,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 ($\bar{X}_{10}$) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-7
の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。なお、厚さの管理を下がり管理で行う場合は掘り起こして測定しなくても良い。		

・上層路盤工

3	2	6	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	-10
						幅	-50	-50	—	—

幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。なお、厚さの管理を下がり管理で行う場合は掘り起こして測定しなくても良い。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいう。同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 1,000 m²以上 10,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 ($\bar{X}_{10}$) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-7

・表層工

3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	11	アスファルト舗装工 (表層工)	厚　　さ	－7	－9	－2	－3
						幅	－25	－25	－	－
						平　坦　性	3mプロファイル (σ)2.4 mm以下 直読式 (σ)1.75mm以下			

幅は、延長 80m毎に 1 箇所割りとし、厚さは、1,000 m ² に 1 個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す測点によらず延長 80m以下の間隔で測定することができる。ただし、3,000 m ² 未満の場合は最低 3 個とする。また、1,000 m ² 未満で異常があれば材料の納入伝票等での確認でも良い。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 1,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値（X ₁₀ ）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 1,000 m ² 未満の舗装工事及び維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-7
--	---	---------

・区画線工

3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	9		区画線工	厚　　さ t (熔融式のみ)	設計値以上
						幅 w	設計値以上

各線種毎に、1 箇所テストピースにより測定。		3-2-3-9
------------------------	--	---------

工事名：配水管布設工事 第8号

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
伸縮可とう管 FCD製	φ 150 GX形 U×S h=200mm 橋梁部 接合部品付き	基	1,202,590			○	
1メカ挿し曲管(GX形) SUS304TP	150A×900L×45° 1'×500L	本	817,000			○	
伸縮管用2曲管	SUS304TP/SUS-SDP(内ハゼ),SUS304TP 150A/φ 267.4,250A×500L×44° 11'×362L×45° 0'×4000L	本	1,611,000			○	
伸縮管用直管	SUS304/SUS-SDP(外ハゼ) 150A/φ 267.4×4000L	本	1,011,000			○	
直管	SUS304/SUS-SDP(外ハゼ) 150A/φ 267.4×4000L	本	1,011,000			○	
曲管	SUS304TP/SUS-SDP(内ハゼ),SUS304TP 150A/φ 267.4,250A×2974L×8° 44'×1000L	本	1,108,000			○	
短管	SUS304/SUS-SDP(外ハゼ) 150A/φ 267.4×2000L	本	523,000			○	
1FT字曲管	SUS304TP/SUS-SDP(内ハゼ),SUS304TP 150A/φ 267.4,250A×80A/125A×3532L×35° 23'×250L×240H	本	1,263,000			○	
1メカ挿し2曲管(GX形)	SUS304TP/SUS304TP 150A/250A×250L×45° 0'×385L×45° 0'×800L	本	1,233,000			○	
空気弁	SUS304 不凍急排形空気弁φ25	基	185,000			○	
伸縮管	SUS304 150A ベローズ型 伸縮量 常時±25mm 地震時±100mm	基	969,000			○	
フランジ継手材	80A 上水(空気弁用)(SOP-RF)	組	13,500			○	
支持金具	SUS304 φ267.4用	組	100,000			○	
歩行防止柵(SDP用)	SUS304 φ267.4用	組	169,000			○	
伸縮管カバー	SUS304 φ364.6×1050L	組	40,200			○	
ワンタッチカバー	SUS304 φ269.0×400L	組	19,400			○	
半割れカバー	SUS304 250A×200L	組	20,600			○	
絶縁Uバンド	SUS304 φ267.4用 M16	組	42,300			○	
支承	SUS304 φ267.4用	組	24,900			○	
アンカーボルト(セラミックインサート)	SUS304 M16×75L 1B,1W,1SW(インサート本体 70L)	組	2,130			○	
架設工	添架形式	式	728,350	○	○	○	
埋設部ステンレス鋼管布設工	150A×5.0t	m	1,790	○	○		
埋設部ステンレス鋼管布設工	150A×5.0t/250A×4.0t	m	2,450	○	○		
ステンレス鋼管溶接工	本管 150A×5.0t	箇所	71,142	○	○		

(備考)

1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。

2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」機械器具等の損料または賃料

「労」労務費

「材」材料費

工事名：配水管布設工事 第8号

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
ステンレス鋼管溶接工	外装管 250A × 4.0t	箇所	175,145	○	○		
現場溶接箇所洗浄工	本管 150A	箇所	4,300	○	○		
現場溶接箇所洗浄工	外装管 250A	箇所	4,300	○	○		
埋設部溶接箇所補修工(ジョイントコート)	本管 150A	箇所	8,730	○	○		
埋設部溶接箇所補修工(ジョイントコート)	外装管 250A	箇所	13,360	○	○		
空気弁設置工	不凍急排形空気弁 φ25	箇所	3,950	○	○		
伸縮管設置工	150A ペローズ型 伸縮量 常時±25mm 地震時±100mm	箇所	36,590	○	○		
支持金具設置工	φ267.4用 支承受付工含む	箇所	17,820	○	○		
歩行防止柵設置工	φ267.4用	箇所	11,990	○	○		
伸縮管カバー設置工(保温工含)	φ364.6 × 1050L	箇所	68,870	○	○		
ワンタッチカバー設置工(保温工含)	φ269.0 × 400L	箇所	31,440	○	○		
接続部保温工(半割れカバー部)	250A × 200L	箇所	48,210	○	○		
非破壊検査工	X線検査(本管)	日	200,460	○	○		
足場工	吊り足場	式	950,000	○	○	○	
レジンコンクリートボックス	1000W*1500L*1200H	式	1,894,000			○	
調整リング	φ1120*φ900*150H	個	258,000			○	
脱着ステップ	SUS製	個	106,000			○	
埋め込みステップ	SUS製	個	20,600			○	
親子鉄蓋(簡易防水タイプ)	φ900*φ600	組	1,005,000			○	
レジンコンクリートボックス据付費	1000W*1500L*1200H	式	651,000	○	○		
現地接着作業指導立会費		式	128,000		○		
伸縮可とう接手	SUS型 φ150	個	312,000			○	
耐震型 不断水割T管 鋳鉄管用	φ400 × 200 K形受口式	台	1,211,000			○	
耐震型 不断水割T管 鋳鉄管用 設置工事費	屋間施工	式	275,000	○	○		

(備考)

1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。

2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」機械器具等の損料または賃料

「労」労務費

「材」材料費

工事名：配水管布設工事 第8号

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
K形特殊押輪	3DkN対応 φ200	組	33,600			○	
ボール式伸縮可とう管 GX管	U×U φ150 h:200	台	1,254,000			○	
ボール式伸縮可とう管 GX管	U×S φ150 h:200	台	1,194,000			○	
HPPE×DIP用T字管	φ150×150 HPPE×DIP変換ソケット付	個	207,000			○	
HPPE継ぎ輪	φ150 HPPE用	個	81,500			○	
GX形 短管1号	φ150 7.5K	個	38,400			○	
仕切弁筐	φ50～φ200 座台共	基	134,000			○	
埋設標示シート	幅150mm ダブル	m	188			○	
管明示テープ	幅30mm 長さ20m/個 年号入	m	130			○	
K形管栓	内面粉体 φ150 ゴム輪、ボルト・ナット共	個	21,200			○	
K形管栓	内面粉体 φ300 ゴム輪、ボルト・ナット共	個	67,800			○	
コート合フランジ	φ150	個	26,100			○	
フランジ接合材	φ150 芯金入パッキン、ステンボルト・ナット共	組	29,400			○	
接合セット	φ150 ゴム輪、押輪、T頭B・N共	組	6,730			○	
接合セット	φ200 ゴム輪、押輪、T頭B・N共	組	8,500			○	
以下余白							

(備考)

- 1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。
- 2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。
「機」機械器具等の損料または賃料
「労」労務費
「材」材料費

工事設計書

				課長		課長補佐		主任・係長		審査者		検算		設計者	
--	--	--	--	----	--	------	--	-------	--	-----	--	----	--	-----	--

工事名称 配水管布設工事 第8号	
工事費総額 ¥- (内訳) 工事価格 ¥- 消費税 ¥-	
発注者名 矢板市上下水道事務所 工 期 令和9年3月26日まで 工事場所 矢板市長井地内 場所名称	共通仮設費補正： 一般交通等の影響あり② *1.2 現場管理費補正(工事場所)： 一般交通等の影響あり② *1.1 一般管理費補正(前払金支出割合)： 前払金支出割合35%を超え(補正しない) *1 一般管理費補正(契約保証)： 金銭的保証を必要 +0.04%
工事概要 当初設計	変更設計

本工事内訳書

頁0002

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配水管布設工	1	式			
配水管布設工 ϕ 200（材料費）	1	式			
GX形直管 ϕ 200×5m 1種内面粉体	1	本			管：
GX形直管 ϕ 200×5m 1種内面粉体	4	本			切管用 管：
GX形二受T字管 ϕ 200×200	2	個			管：
GX形二受T字管 ϕ 200×150	1	個			管：
GX形曲管 45° ϕ 200	7	個			管：
GX形曲管 22° 1/2 ϕ 200	2	個			管：
GX形曲管 11° 1/4 ϕ 200	1	個			管：

本工事内訳書

頁0003

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GX形両受曲管 22° 1/2 φ 200	2	個			管:
GX形片落管受挿し φ 200×150	1	個			管:
GX形片落管挿し受 φ 200×150	2	個			管:
GX形両受短管 φ 200	1	個			管:
接合セット φ 200 コム輪、押輪、T頭B・N共	18	組			管:
接合セット φ 150 コム輪、押輪、T頭B・N共	1	組			管:
GX形G-Link φ 200 コム輪、ホルト・ナット共	9	組			管:
GX形ライフ φ 200	5	個			管:
ダクタイル鋳鉄管用 離脱防止押輪 K形用 離脱防止力3DkN対応 呼び径 200	1	個			

本工事内訳書

頁0004

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
K形管栓 内面粉体 φ 300 コム輪、ボルト・ナット共	1	個			管:
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	26.5	m			
埋設標示シート 幅150mm ダブル	32	m			
配水管布設工 φ 200 (労務費)	1	式			
鋳鉄管吊込み据付工(機械力) 呼び径200mm	29.4	m			代価第1号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
GX形継手接合工 直管 呼び径200mm	5	口			代価第2号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
GX形継手接合工 異形管 呼び径200mm	18	口			代価第3号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
GX形継手接合工 異形管 呼び径150mm	1	口			代価第4号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
GX形継手接合工 異形管(G-Link) 呼び径200mm	9	口			代価第5号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節

本工事内訳書

頁0005

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管切断工 呼び径200mm エンジンカッター使用 切断のみ	9	口			代価第6号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
鋳鉄管切断工 呼び径300mm エンジンカッター使用 切断のみ	1	口			代価第7号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
鋳鉄管切断工 呼び径400mm エンジンカッター使用 切断のみ	2	口			代価第8号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
メカニカル継手工 呼び径200mm 特殊押輪使用 割増率30% 離脱防止継手等による割増を行わない 耐震型補強金具使用しない	1	口			代価第9号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
メカニカル継手工 呼び径300mm 特殊押輪使用しない 離脱防止継手等による割増を行わない 耐震型補強金具使用しない	1	口			代価第10号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
管明示テープ工(手間のみ) 呼び径・寸法 φ150×5000mm 天端明示無	26.5	m			代価第11号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
管明示シート工(手間のみ)	32	m			代価第12号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
通水試験工 試験距離：32.0m	32	m			代価第13号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第5章-第1節
配水管布設工 φ150 (材料費)	1	式			

本工事内訳書

頁0006

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GX形直管 φ 150×5m 1種内面粉体	2	本			管：
GX形直管 φ 150×5m 1種内面粉体	7	本			切管用 管：
GX形曲管 45° φ 150	7	個			管：
GX形曲管 22° 1/2 φ 150	2	個			管：
GX形曲管 11° 1/4 φ 150	1	個			管：
GX形両受曲管 45° φ 150	4	個			管：
GX形両受曲管 22° 1/2 φ 150	1	個			管：
GX形短管 1 号 φ 150	2	個			管：
GX形継輪 φ 150	1	個			管：

本工事内訳書

頁0007

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
接合セット φ 150 コム輪、押輪、T頭B・N共	11	組			管：
GX形G-Link φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	25	組			管：
GX形ライフ φ 150	8	個			管：
K形管栓 内面粉体 φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	1	個			管：
フランジ短管 内面粉体 φ 150 L300 7.5K	1	個			管：
コート合フランジ φ 150	3	個			管：
フランジ接合材 φ 150 芯金入パッキン、ステンボルト・ナット共	3	組			管：
伸縮可とう継手 SUS形 呼び径150	1	個			管：
伸縮可とう管 GX形 偏芯量200mm 呼び径150 UG×UG	1	個			管：

本工事内訳書

頁0008

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮可とう管 GX形 偏芯量200mm 呼び径150 UG×SG	1	個			支管:
伸縮可とう管 GX形 偏芯量200mm 橋梁部 接合部品付き 呼び径150 UG×SG	2	個			管:
HPPE×DIP T字管 HPPE×DIP建艦ソケット付き 呼び径150×150	1	個			管:
HPPE 継ぎ輪 HPPE用 φ150	1	個			管:
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	29.5	m			
埋設標示シート 幅150mm タブフル	46.3	m			
配水管布設工 φ150 (労務費)	1	式			
铸铁管吊込み据付工(機械力) 呼び径150mm	45.8	m			代価第14号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
GX形継手接合工 直管 呼び径150mm	8	口			代価第15号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節

本工事内訳書

頁0009

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GX形継手接合工 異形管 呼び径150mm	11	口			代価第4号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
GX形継手接合工 異形管(G-Link) 呼び径150mm	25	口			代価第16号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
鋳鉄管切断工 呼び径150mm エンジンカッター使用 切断のみ	19	口			代価第17号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
ポリエチレン管切断工 呼び径150mm	3	口			代価第18号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
鋳鉄管継手取外し工(K形) 呼び径150mm 特殊押輪使用しない	1	口			代価第19号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節
メカニカル継手工 呼び径150mm 特殊押輪使用 割増率15% 離脱防止継手等による割増を行わない 耐震型補強金具使用しない	2	口			代価第20号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径150mm	4	口			代価第21号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第6節
フランジ継手工 呼び径65mm以下 JWWA7.5K(F12) 耐震型補強金具設置しない	3	口			代価第22号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
管明示テープ工(手間のみ) 呼び径・寸法φ150×5000mm 天端明示無	29.5	m			代価第11号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節

本工事内訳書

頁0010

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管明示シート工(手間のみ)	46.3	m			代価第12号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
通水試験工 試験距離：46.3m	46.3	m			代価第23号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第5章-第1節-127頁
橋梁添架水管橋設置工（材料費）	1	式			
1ヶ挿し曲管（GX形）	1	本			規格については数量計算書参照 管：
伸縮管用2曲管	1	本			規格については数量計算書参照 管：
伸縮管用直管	1	本			規格については数量計算書参照 管：
直管	2	本			規格については数量計算書参照 管：
曲管	1	本			規格については数量計算書参照 管：
短管	1	本			規格については数量計算書参照 管：

本工事内訳書

頁0011

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1FT字曲管	1	本			規格については数量計算書参照 管:
1カ挿し2曲管	1	本			規格については数量計算書参照 管:
支持金具	13	組			規格については数量計算書参照
歩行防止柵 (SDP用)	2	組			規格については数量計算書参照
伸縮管カバー	1	組			規格については数量計算書参照
ワンタッチカバー	5	組			規格については数量計算書参照
半割れカバー	1	個			規格については数量計算書参照
空気弁	1	基			規格については数量計算書参照 管:
伸縮管	1	基			規格については数量計算書参照 管:

本工事内訳書

頁0012

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
絶縁バンド	13	組			規格については数量計算書参照
支承	13	組			規格については数量計算書参照
アンカーボルト (セラミックインサート)	26	式			規格については数量計算書参照
フランジ継手材	1	組			規格については数量計算書参照 管:
橋梁添架水管橋設置工 (労務費)	1	式			
水管橋設置工	1	式			代価第24号
コンクリート 小型構造物, 人力打設, 生コンクリート 高炉・普通 18-8-25 (W/C指定なし), -, 一般養生, -, 有り, -	0.9	m3			施工第1号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-①-12
型枠 一般型枠, 小型構造物	5	m2			施工第2号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-②-5
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下, 再生クラッシュラン 40〜0	2	m2			施工第3号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-2-②-4

本工事内訳書

頁0013

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁設置工（材料費）	1	式			
GX型ソフトシル仕切弁 φ 200 7.5K	3	基			管：
GX型ソフトシル仕切弁（両受） φ 200 7.5K	1	基			管：
GX型ソフトシル仕切弁（両受） φ 150 7.5K	2	基			管：
不断水分岐割T字管 呼び径 400×200	1	個			管：
仕切弁筐 φ 50～φ 200 座台共	7	基			
仕切弁設置工（施工費）	1	式			
鋳鉄製仕切弁（機械力）縦型設置工 呼び径200mm	4	基			代価第25号 【水道事業実務必携（R8）】第一編-第2章-第9節
鋳鉄製仕切弁（機械力）縦型設置工 呼び径150mm	2	基			代価第26号 【水道事業実務必携（R8）】第一編-第2章-第9節

本工事内訳書

頁0014

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不断水連絡工 呼び径 φ 400×200	1	基			
ねじ式弁篋設置工 A, B形 1号 底版使用する	7	箇所			代価第27号 【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第9節
レジンコンクリート弁室設置工（材料費）	1	式			
レジンコンクリートボックス 1000w*1500L*1200H	1	式			
調整リング φ 1120*φ 900*150H	1	個			
脱着ステップ SUS製	1	個			
埋め込みステップ SUS製	3	個			
親子鉄蓋（簡易防水タイプ） φ 900*φ 600	1	組			
レジンコンクリート弁室設置工（労務費）	1	式			

本工事内訳書

頁0015

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
レジンコンクリートボックス設置工 1500*1000*1200	1	式			
現地接着作業指導立会費	1	式			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 24-12-25 (20) (高炉), -, 養生無し, -, 有り, -	0.1	m3			施工第4号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-①-12
型枠 一般型枠, 均しコンクリート	0.3	m2			施工第5号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-②-5
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下, 再生クラッシュラン 40〜0	2	m2			施工第6号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-2-②-4
コンクリート 小型構造物, 人力打設, 生コンクリート 高炉・普通 18-8-25 (W/C指定なし), -, 一般養生, -, 有り, -	0.1	m3			施工第7号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-①-12
型枠 一般型枠, 小型構造物	1	m2			施工第8号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-②-5
土工	1	式			
バックホウ掘削積込工 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]	63	m3			代価第28号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節

本工事内訳書

頁0016

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 土砂, 現場制約あり, -, -, -, -, -, -, -	8	m3			施工第9号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-1-②-31
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 クッション用ロス率: 0.26	28	m3			代価第29号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土	36	m3			代価第30号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
発生土運搬工 タンクトラック4t積 バックホ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間あり 9.0km以下 代良好	35	m3			代価第31号 【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節
残土受入費 砂利採取場への搬出(整地費用を含む)	35	m3			処:
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工) 掘削深2.0m以下 たて込み バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	5.3	m			代価第32号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工) 掘削深2.5m以下 たて込み バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	6.5	m			代価第33号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
軽量金属製支保材設置・撤去 ねじ式パイプサポート 1段(2.0m以下)	11.8	m			代価第34号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
軽量鋼矢板賃料 2日 補助工法: 無 2回使用	0.6	t			代価第35号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節

本工事内訳書

頁0017

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鋼矢板賃料 2日 補助工法：無 2回使用	0.7	t			代価第35号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
支保材賃料 1段 持込み長2.1m 2日供用	1	式			代価第36号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
支保材賃料 1段 持込み長1.8m 2日供用	1	式			代価第37号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節
仮設工	1	式			
仮設工	1	式			
仮設工	1	式			
交通誘導警備員B	1	式			代価第38号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-5-20-1
【 直接工事費計 】					
共通仮設費率額	1	式			

本工事内訳書

頁0018

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費積上額	1	式			
運搬費	1	式			内訳第1号
【 共通仮設費計 】					
【 純工事費 】					
現場管理費率額	1	式			
【 現場管理費計 】					
【 工事原価 】					
一般管理費率額	1	式			
【 一般管理費計 】					

本工事内訳書

頁0019

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 工事価格 】					
【 消費税等相当額 】					
【 工事費計 】					

施工内訳表

式

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材の運搬 製品長：12m以内 距離：4.4km 冬期割増なし 深夜早朝割増なし 往復	1.3	t			代価第39号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第1章-第2節
仮設材積込・取卸費(鋼矢板, H鋼, 覆工板等) 基地積込～現場～基地取卸	1.3	t			代価第40号 【水道事業実務必携(R8)】第一編-第1章-第2節
【 合計 】	1	式			

鋳鉄管吊込み据付工(機械力)
 呼び径200mm

施工代価表

代価第1号
 頁0021

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラック運転費[クレーン装置付] 通称4～4.5t積級 吊能力2.9t		h			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

鑄鉄管切断工
 呼び径200mm エンジンカッター使用 切断のみ

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
エンジンカッター損料		日			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

鑄鉄管切断工
 呼び径300mm エンジンカッター使用 切断のみ

施工代価表

代価第7号
 頁0027

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
エンジンカッター損料		日			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

鑄鉄管切断工
 呼び径400mm エンジンカッター使用 切断のみ

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
エンジンカッター損料		日			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

メカニカル継手工
呼び径200mm 特殊押輪使用 割増率30% 離脱防止継手等による割増を
行わない 耐震型補強金具使用しない

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

メカニカル継手工
呼び径300mm 特殊押輪使用しない 離脱防止継手等による割増を行わ
ない 耐震型補強金具使用しない

施工代価表

代価第10号 頁0030

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

管明示テープ 工(手間のみ)
呼び径・寸法 φ150×5000mm 天端明示無

施工代価表

代価第11号 頁0031

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

通水試験工
試験距離：32.0m

施工代価表

代価第13号 頁0033

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第5章-第1節 32.0 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 給水車：不要		日			
【 合計 】	32.0	m			
【 単位当り 】	1	m			

鑄鉄管吊込み据付工(機械力)
 呼び径150mm

施工代価表

代価第14号
 頁0034

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節
 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラック運転費[クレーン装置付] 通称4～4.5t積級 吊能力2.9t		h			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

鑄鉄管切断工
 呼び径150mm エンジンカッター使用 切断のみ

施工代価表

代価第17号
 頁0037

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第8節
 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
エンジンカッター損料		日			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ポリエチレン管切断工
呼び径150mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第8節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の7%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

鋳鉄管継手取外し工(K形)
 呼び径150mm 特殊押輪使用しない

施工代価表

代価第19号
 頁0039

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第10節
 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工
呼び径150mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第6節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合 計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

フランジ継手工
呼び径65mm以下 JWWA7.5K(F12) 耐震型補強金具設置しない

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第3節 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

通水試験工
試験距離：46.3m

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第5章-第1節-127頁 46.3 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工					
給水車：不要		日			
【 合計 】	46.3	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
架設工					
添架形式	1	式			
埋設部ステンレス鋼管布設工					
150A*5. 0t	1. 4	m			
埋設部ステンレス鋼管布設工					
150A*5. 0t/250A*4. 0t	1. 4	m			
ステンレス鋼管溶接工					
本管 150A*5. 0t	9	箇所			
ステンレス鋼管溶接工					
外装管 250A*4. 0t	1	箇所			
現場溶接箇所洗浄工					
本管 150A	9	箇所			
現場溶接箇所洗浄工					
外装管 250A	1	箇所			
埋設部溶接箇所補修工（ジョイントコート）					
本管 150A	1	箇所			
埋設部溶接箇所補修工（ジョイントコート）					
外装管 250A	1	箇所			

施工代価表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気弁設置工 不凍急排形空気弁 φ 25	1	箇所			
伸縮管設置工 150A へ`ロ-ス`型 伸縮量 異常時±25mm 地震時±100mm	1	箇所			
支持金具設置工 φ 267. 4用 支承取付工含む	13	箇所			
歩行防止柵設置工 φ 267. 4用	2	箇所			
伸縮管かへ`-設置工（保温工含） φ 364. 6*1050L	1	箇所			
ワ`ンタッチかへ`-設置工（保温工含） φ 269. 0*400L	3	箇所			
接続部保温工（半割れかへ`-部） 250A*200L	1	箇所			
非破壊検査工 X線検査（本管）	2	日			
足場工 吊り足場	1	式			

施工代価表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 合計 】	1	式			
【 単位当り 】	1	式			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次基準)] バケット容量0.45m3 吊能力2.9t		h			
【 合計 】	1	基			
【 単位当り 】	1	基			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第9節
 1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次基準)] バケット容量0.45m3 吊能力2.9t		h			
【 合計 】	1	基			
【 単位当り 】	1	基			

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第9節 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

バックホウ掘削積込工
バックホウ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕

施工代価表

代価第28号 頁0050

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3〔平積0.2m3〕		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

管路埋戻・締め工(機械埋戻・バックホ)
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 クッション用ロス率：0.26

施工代価表

代価第29号 頁0051

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クソバ 締め
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クソバ 運転		日			クソバ 締め
砂 クッション用	126	m3			ロス率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

管路埋戻・締め工(機械埋戻・バックホ)
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第二編-第1章-第1節 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締め
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締め
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

発生土運搬工
ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3〔平積0.20m3〕 DID区間あり 9.0km以
下 タイヤ良好

施工代価表

代価第31号 頁0053

【水道事業実務必携(R8)】 第二編-第1章-第1節 10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転		日			
【 合計 】	10	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)
掘削深2.0m以下 たて込み バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバ
ックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第32号 頁0054

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			たて込み
バックホウ運転 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)
掘削深2.5m以下 たて込み バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバ
ックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第33号 頁0055

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			たて込み
バックホウ運転 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量金属製支保材設置・撤去
ねじ式パイサート 1段(2.0m以下)

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】 第一編-第2章-第2節 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量鋼矢板賃料
2日 補助工法：無 2回使用

施工代価表

代価第35号 頁0057

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節 1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鋼矢板賃料	1	t			
修理費	1	t			5750*2.75
【 合計 】	1	t			
【 単位当り 】	1	t			

支保材賃料
1段 持込み長2.1m 2日供用

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節 1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水圧ホース(賃) 調整長450～650mm程	4.2	本・日			
水圧ホース(賃)基本料 調整長450～650mm程	2.1	本			
アル腹起こし(賃) 70×115×2000mm程	4.2	本・日			
アル腹起こし(賃)基本料 70×115×2000mm程	2.1	本			
水圧ホース(賃) 手動ポンプ 水量15～19L	2	台・日			
水圧ホース(賃)基本料 手動ポンプ 水量15～19L	1	台			
【 合計 】	1	式			
【 単位当り 】	1	式			

支保材賃料
1段 持込み長1.8m 2日供用

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第2章-第2節 1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水圧ホース(賃) 調整長450～650mm程	3.6	本・日			
水圧ホース(賃)基本料 調整長450～650mm程	1.8	本			
アル腹起こし(賃) 70×115×2000mm程	3.6	本・日			
アル腹起こし(賃)基本料 70×115×2000mm程	1.8	本			
水圧ホース(賃) 手動ポンプ 水量15～19L	2	台・日			
水圧ホース(賃)基本料 手動ポンプ 水量15～19L	1	台			
【 合計 】	1	式			
【 単位当り 】	1	式			

施工代価表

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-5-20-1

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員B		人			
【 合計 】	1	式			
【 単位当り 】	1	式			

仮設材の運搬
製品長：12m以内 距離：4.4km 冬期割増なし 深夜早朝割増なし 往復

施工代価表

代価第39号 頁0061

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第1章-第2節 1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	2	t			
【 合計 】	1	t			
【 単位当り 】	1	t			

仮設材積込・取卸費(鋼矢板, H鋼, 覆工板等)
基地積込～現場～基地取卸

施工代価表

【水道事業実務必携(R8)】第一編-第1章-第2節 1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼材積込費					
基地積込	1	t			
鋼材取卸費					
場内取卸	1	t			
鋼材積込費					
場内積込	1	t			
鋼材取卸費					
基地取卸	1	t			
【 合計 】	1	t			
【 単位当り 】	1	t			

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	0			
R 東京	労務	46.28			
R1 東京	普通作業員	28.67			
R2 東京	土木一般世話役	8.36			
R3 東京	特殊作業員	7.07			
Z 東京	材料	53.72			
Z1 東京	生コンクリート 高炉・普通 18-8-25 (W/C指定なし)	53.72			現場付近道路渡し
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：008 矢板（09 栃木県）／2026-09-10）				
	標準単価				

型枠
一般型枠, 小型構造物

施工パッケージ

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-②-5
積算単位：m2

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	0			
R 東京	労務	100			
R1 東京	型わく工	44.38			
R2 東京	普通作業員	30.83			
R3 東京	土木一般世話役	11.75			
Z 東京	材料	0			
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：008 矢板（09 栃木県）／2026-09-10）				
	標準単価				

基礎碎石
7.5cmを超え12.5cm以下, 再生クラッシュラン 40～0

施工パッケージ

施工第3号
頁0065

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-2-②-4
積算単位：m2

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	5.11			
K1 東京	バックホウ賃料(クローラ型) 山積0.8m3	5.08			
R 東京	労務	79.15			
R1 東京	普通作業員	38.07			
R2 東京	特殊作業員	16.1			
R3 東京	運転手(特殊)	14.92			
R4 東京	土木一般世話役	9.51			
Z 東京	材料	15.74			
Z1 東京	再生クラッシュラン RC-40	10.65			

基礎碎石
7.5cmを超え12.5cm以下,再生クラッシュラン 40～0

施工パッケージ

施工第3号
頁0066

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-2-②-4
積算単位：m2

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
Z2 東京	軽油 1.2号 バートル給油	5.06			
	*** 単位当り ***				
	積算単価 (地区：008 矢板 (09 栃木県)／2026-09-10)				
	標準単価				

コンクリート
無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 24-12-25(20)(高炉), -, 養生無し, -, 有り
, -

施工パッケージ

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-①-12 積算単位：m3

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	0			
R 東京	労務	34.29			
R1 東京	普通作業員	19.99			
R2 東京	特殊作業員	6.77			
R3 東京	土木一般世話役	5.29			
Z 東京	材料	65.71			
Z1 東京	生コンクリート 高炉 24-12-25(W/C55%以下)	65.71			
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：008 矢板（09 栃木県）／2026-09-10）				
	標準単価				

型枠
一般型枠, 均しコンクリート

施工パッケージ

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-②-5 積算単位：m2

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	0			
R 東京	労務	100			
R1 東京	型わく工	58.85			
R2 東京	普通作業員	19.89			
R3 東京	土木一般世話役	6.01			
Z 東京	材料	0			
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：008 矢板（09 栃木県）／2026-09-10）				
	標準単価				

基礎碎石
12.5cmを超え17.5cm以下, 再生クラッシャー 40～0

施工パッケージ

施工第6号
頁0069

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-2-②-4
積算単位：m2

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	4. 85			
K1 東京	バックホウ賃料(クローラ型) 山積0.8m3	4. 82			
R 東京	労務	75. 15			
R1 東京	普通作業員	36. 15			
R2 東京	特殊作業員	15. 29			
R3 東京	運転手(特殊)	14. 16			
R4 東京	土木一般世話役	9. 03			
Z 東京	材料	20			
Z1 東京	再生クラッシャー RC-40	15. 16			

基礎碎石
12.5cmを超え17.5cm以下, 再生クワッシャラン 40～0

施工パッケージ

施工第6号
頁0070

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-2-②-4
積算単位：m2

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
Z2 東京	軽油 1.2号 バートル給油	4.81			
	*** 単位当り ***				
	積算単価 (地区：008 矢板 (09 栃木県)／2026-09-10)				
	標準単価				

コンクリート

小型構造物, 人力打設, 生コンクリート 高炉・普通 18-8-25 (W/C指定なし), -
, 一般養生, -, 有り, -

施工パッケージ

施工第7号

頁0071

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-①-12

積算単位：m3

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	0			
R 東京	労務	46.28			
R1 東京	普通作業員	28.67			
R2 東京	土木一般世話役	8.36			
R3 東京	特殊作業員	7.07			
Z 東京	材料	53.72			
Z1 東京	生コンクリート 高炉・普通 18-8-25 (W/C指定なし)	53.72			現場付近道路渡し
	*** 単位当り ***				
	積算単価 (地区：008 矢板 (09 栃木県)／2026-09-10)				
	標準単価				

型枠
一般型枠, 小型構造物

施工パッケージ

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-4-②-5 積算単位：m2

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	0			
R 東京	労務	100			
R1 東京	型わく工	44.38			
R2 東京	普通作業員	30.83			
R3 東京	土木一般世話役	11.75			
Z 東京	材料	0			
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：008 矢板（09 栃木県）／2026-09-10）				
	標準単価				

掘削
土砂, 現場制約あり, -, -, -, -, -, -, -

施工パッケージ

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R8)】Ⅱ-1-②-31
積算単位：m3

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	0			
R 東京	労務	100			
R1 東京	普通作業員	100			
Z 東京	材料	0			
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：008 矢板（09 栃木県）／2026-09-10）				
	標準単価				

単価調書

頁0074

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【労務費】					
交通誘導警備員B		人			
土木一般世話役		人			
型わく工		人			
普通作業員		人			
特殊作業員		人			
特殊作業員 水道事業実務必携基準		人			
運転手(一般)		人			
運転手(特殊)		人			

単価調書

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【損料・賃料】					
エンジンカッター損料		日			
タンパ 賃料 質量60～80kg		日			
タンブ トラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級		供用日			令和8年度版建設機械等損料表03-1
タンブ トラックタイヤ損耗費 良好 4t積		供用日			
トラック[クレーン装置付] 通称4～4.5t積級吊能力2.9t		h			令和8年度版建設機械等損料表03-3
バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排対型(1次)](2026廃止) 標準バケット容量(山積0.45/平積0.35m3)吊能力2.9t		h			令和7年度版建設機械等損料表02-13
バックホウ(クローラ型)[標準型・排対型(2次基準)] バケット容量0.28m3		h			令和8年度版建設機械等損料表02-9
バックホウ賃料(クローラ型) 山積0.8m3		日			

単価調書

頁0076

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【材料費】					
アルミ腹起こし(賃) 70×115×2000mm程	7.8	本・日			
アルミ腹起こし(賃)基本料 70×115×2000mm程	3.9	本			
アンカーボルト (セラミックインサート)	26	式			
カソリン レギュラー スタンド	9.6	L			
ステンレス鋼管溶接工 外装管 250A*4.0t	1	箇所			
ステンレス鋼管溶接工 本管 150A*5.0t	9	箇所			
ダクタイル鋳鉄管用 離脱防止押輪 K形用 離脱防止力3DkN対応 呼び径 200	1	個			
レジンコンクリートボックス 1000w*1500L*1200H	1	式			

単価調書

頁0077

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
レジンコンクリートボックス設置工 1500*1000*1200	1	式			
ワタツチカバー	5	組			
ワタツチカバー設置工（保温工含） φ 269. 0*400L	3	箇所			
不断水連絡工 呼び径 φ 400×200	1	基			
仕切弁篋 φ 50～φ 200 座台共	7	基			
伸縮管カバー	1	組			
伸縮管カバー設置工（保温工含） φ 364. 6*1050L	1	箇所			
伸縮管設置工 150A ヘーローズ型 伸縮量 異常時±25mm 地震時±100mm	1	箇所			
修理費	1. 3	t			

単価調書

頁0078

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生クラッシャー RC-40	0.597	m3			
半割れカバー	1	個			
埋め込みステップ SUS製	3	個			
埋設標示シート 幅150mm ダブル	78.3	m			
埋設部ステンレス鋼管布設工 150A*5.0t	1.4	m			
埋設部ステンレス鋼管布設工 150A*5.0t/250A*4.0t	1.4	m			
埋設部溶接箇所補修工（ジョイントコト） 外装管 250A	1	箇所			
埋設部溶接箇所補修工（ジョイントコト） 本管 150A	1	箇所			
基本運賃	2.6	t			

単価調書

頁0079

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
接続部保温工（半割れカバー部） 250A*200L	1	箇所			
支承	13	組			
支持金具	13	組			
支持金具設置工 φ 267.4用 支承取付工含む	13	箇所			
架設工 添架形式	1	式			
歩行防止柵（SDP用）	2	組			
歩行防止柵設置工 φ 267.4用	2	箇所			
水圧ホース（賃） 手動ポンプ 水量15～19L	4	台・日			
水圧ホース（賃） 調整長450～650mm程	7.8	本・日			

単価調書

頁0080

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水圧ホース(賃)基本料 手動ポンプ 水量15～19L	2	台			
水圧ホース(賃)基本料 調整長450～650mm程	3.9	本			
現地接着作業指導立会費	1	式			
現場溶接箇所洗浄工 外装管 250A	1	箇所			
現場溶接箇所洗浄工 本管 150A	9	箇所			
生コンクリート 高炉 24-12-25(W/C55%以下)	0.106	m3			
生コンクリート 高炉・普通 18-8-25(W/C指定なし)	1.05	m3			現場付近道路渡し
砂 クッション用	35.28	m3			
空気弁設置工 不凍急排形空気弁 φ25	1	箇所			

単価調書

頁0081

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	56	m			
絶縁バンド	13	組			
脱着ステップ SUS製	1	個			
親子鉄蓋（簡易防水タイプ） φ 900* φ 600	1	組			
調整リング φ 1120* φ 900*150H	1	個			
足場工 吊り足場	1	式			
軽油 1.2号 バトル給油	256.732	L			
軽量鋼矢板賃料	1.3	t			
鋼材取卸費 基地取卸	1.3	t			

単価調書

頁0082

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼材取卸費					
場内取卸	1.3	t			
鋼材積込費					
基地積込	1.3	t			
鋼材積込費					
場内積込	1.3	t			
非破壊検査工					
X線検査（本管）	2	日			
【処分費】					
残土受入費					
砂利採取場への搬出(整地費用を含む)	35	m3			処:
【管材費】					
1FT字曲管	1	本			管:
1ヵ挿し2曲管	1	本			管:

単価調書

頁0083

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1ヶ挿し曲管 (GX形)	1	本			管:
GX型ソフトシル仕切弁 φ 200 7.5K	3	基			管:
GX型ソフトシル仕切弁(両受) φ 150 7.5K	2	基			管:
GX型ソフトシル仕切弁(両受) φ 200 7.5K	1	基			管:
GX形G-Link φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	25	組			管:
GX形G-Link φ 200 コム輪、ボルト・ナット共	9	組			管:
GX形ライフ φ 150	8	個			管:
GX形ライフ φ 200	5	個			管:
GX形両受曲管 22° 1/2 φ 150	1	個			管:

単価調書

頁0084

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GX形両受曲管 22° 1/2 φ 200	2	個			管：
GX形両受曲管 45° φ 150	4	個			管：
GX形両受短管 φ 200	1	個			管：
GX形二受T字管 φ 200×150	1	個			管：
GX形二受T字管 φ 200×200	2	個			管：
GX形曲管 11° 1/4 φ 150	1	個			管：
GX形曲管 11° 1/4 φ 200	1	個			管：
GX形曲管 22° 1/2 φ 150	2	個			管：
GX形曲管 22° 1/2 φ 200	2	個			管：

単価調書

頁0085

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GX形曲管 45° φ 150	7	個			管：
GX形曲管 45° φ 200	7	個			管：
GX形片落管受挿し φ 200×150	1	個			管：
GX形片落管挿し受 φ 200×150	2	個			管：
GX形直管 φ 150×5m 1種内面粉体	9	本			管：
GX形直管 φ 200×5m 1種内面粉体	5	本			管：
GX形短管 1 号 φ 150	2	個			管：
GX形継輪 φ 150	1	個			管：
HPPE 継ぎ輪 HPPE用 φ 150	1	個			管：

単価調書

頁0086

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
HPPE×DIP T字管					
HPPE×DIP建艦ソケット付き 呼び径150×150	1	個			管:
K形管栓					
内面粉体 φ150 コム輪、ボルト・ナット共	1	個			管:
K形管栓					
内面粉体 φ300 コム輪、ボルト・ナット共	1	個			管:
コト合フランジ					
φ150	3	個			管:
フランジ 接合材					
φ150 芯金入パッキン、ステンボルト・ナット共	3	組			管:
フランジ 短管					
内面粉体 φ150 L300 7.5K	1	個			管:
フランジ 継手材					
	1	組			管:
不断水分岐割T字管					
呼び径 400×200	1	個			管:
伸縮可とう管 GX形 偏芯量200mm					
呼び径150 UG×UG	1	個			管:

単価調書

頁0087

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮可とう管 GX形 偏芯量200mm 橋梁部 接合部品付き 呼び径150 UG×SG	2	個			管：
伸縮可とう継手 SUS形 呼び径150	1	個			管：
伸縮管	1	基			管：
伸縮管用2曲管	1	本			管：
伸縮管用直管	1	本			管：
接合セット φ 150 コム輪、押輪、T頭B・N共	12	組			管：
接合セット φ 200 コム輪、押輪、T頭B・N共	18	組			管：
曲管	1	本			管：
直管	2	本			管：

単価調書

頁0088

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
短管	1	本			管:
空気弁	1	基			管:
【その他】					
伸縮可とう管 GX形 偏芯量200mm 呼び径150 UG×SG	1	個			支管:

数 量 計 算 書

工事名 配水管布設工事 第8号

工事場所 矢板市 長井 地内

布設工 L= 31.84 m

[illegible]

口径・工種別土工数量計算表

1 DIP (GX) φ 200mm				
名 称	①県道車道部			

口径・工種別土工数量計算表

1 DIP (GX) φ 200mm				
名 称	②歩道部 L= 19.64 m (DP0.42)			
	L = 3.24 + 3.67 + 12.73 + + + + +			
	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘含)	19.640 × 0.444	8.720	8.720 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	19.640 × 0.274	5.381	5.381 m3	
D. 発生土埋戻	19.640 × 0.132	2.592	2.592 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	19.640 × 0.312	6.128	6.128 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版破碎掘削・積込 (バックホウ) t=17cm				アスファルト舗装版 舗装版厚15cm超45cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=3,5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚25cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
T. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
U. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ® 再生密粒As (20)-50 舗装厚5cm
V. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ® 再生密粒As (13)-50 舗装厚3cm
W. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
X. 軽量金属製支保工1段				
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=2.40
Z. 軽量金属製支保工2段				
a. 区画線				実線 白 W=15cm
b. 区画線				実線 黄 W=15cm
c. 区画線				矢印・記号・文字 15cm換算

口径・工種別土工数量計算表

1 DIP (GX) φ 200mm				
名 称	③歩道部 L= 3.44 m (DP0.92)			
	L = 3.44 + + + + + + +			
	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘含)	3.440 × 0.744	2.559	2.559 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	3.440 × 0.274	0.943	0.943 m3	
D. 発生土埋戻	3.440 × 0.432	1.486	1.486 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	3.440 × 0.312	1.073	1.073 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版破碎掘削・積込 (バックホウ) t=17cm				アスファルト舗装版 舗装版厚15cm超45cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=3,5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚25cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
T. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
U. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ® 再生密粒As (20) -50 舗装厚5cm
V. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ® 再生密粒As (13) -50 舗装厚3cm
W. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
X. 軽量金属製支保工1段				
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=2.40
Z. 軽量金属製支保工2段				
a. 区画線				実線 白 W=15cm
b. 区画線				実線 黄 W=15cm
c. 区画線				矢印・記号・文字 15cm換算

口径・工種別土工数量計算表

1 DIP (GX) φ 200mm				
L= 2.16 m				
名 称	⑬不断水分岐割T字管			
	N= 1.00 m (DP1.19)			
	N = 1.00 + + + + + + + +			
	計算式（距離×基本数値）	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削（会所掘含）	1.000 × 4.153	4.153	4.153 m3	
B. 人力掘削	1.000 × 3.189	3.189	3.189 m3	
C. 山砂埋戻	1.000 × 3.103	3.103	3.103 m3	
D. 発生土埋戻	1.000 × 4.153	4.153	4.153 m3	
E. ダンプトラック運搬 （発生土）	1.000 × 3.410	3.410	3.410 m3	
F. ダンプトラック運搬 （アスファルト塊）				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 （コンクリート塊）				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版破碎掘削・積込 （バックホウ） t=17cm				アスファルト舗装版 舗装版厚15cm超45cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 （バックホウ） t=3,5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 （バックホウ） t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚25cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
T. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
U. 復旧工：表層工 （車道・人力施工）				エコスラグ® 再生密粒As (20)-50 舗装厚5cm
V. 復旧工：表層工 （歩道・機械施工）				エコスラグ® 再生密粒As (13)-50 舗装厚3cm
W. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
X. 軽量金属製支保工1段	1.000 × 3.200	3.200	3.200 m	
Y. 軽量鋼矢板建込み	1.000 × 3.200	3.200	3.200 m	H=2.10
Z. 軽量金属製支保工2段				
a. 区画線				実線 白 W=15cm
b. 区画線				実線 黄 W=15cm
c. 区画線				矢印・記号・文字 15cm換算

口径・工種別土工数量計算表

1 DIP (GX) φ 200mm				
L= 2.00 m				
名 称	⑭県道車道部(栓設置)			
	N= 1.00 箇所 (DP0.80)			
	N = 1.00 + + + + + + +			
	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘含)	1.000 × 2.400	2.400	2.400 m3	
B. 人力掘削	1.000 × 3.819	3.819	3.819 m3	
C. 山砂埋戻	1.000 × 3.819	3.819	3.819 m3	
D. 発生土埋戻	1.000 × 2.400	2.400	2.400 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	1.000 × 4.104	4.104	4.104 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版破碎掘削・積込 (バックホウ) t=17cm				アスファルト舗装版 舗装版厚15cm超45cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=3,5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚25cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
T. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
U. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
V. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
W. 軽量鋼矢板建込み	1.000 × 2.000	2.000	2.000 m	H=1.80
X. 軽量金属製支保工1段	1.000 × 2.000	2.000	2.000 m	
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=2.10
Z. 軽量金属製支保工2段				
a. 区画線				実線 白 W=15cm
b. 区画線				実線 黄 W=15cm
c. 区画線				矢印・記号・文字 15cm換算

①県道車道部

DIP (GX) φ 200 DP0.80m

名 称

略 図 及 び 計 算 式

数 量

①県道車道部 φ 200

土被り 0.80m

掘 削

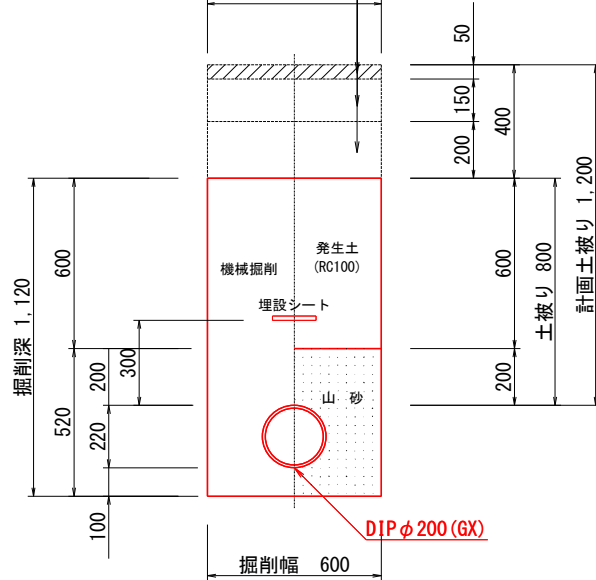
復 旧

表 層 工 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)-50 t= 5cm

上層路盤工 粒調碎石 M0~40 15cm

下層路盤工 再生骨材 RC-40 t=20cm

復旧幅600



1 m当たり数量

As舗装切断 t= cm

L =

=

m/m

舗装版破碎掘削積込
t= cm

A =

=

m²/m

廃材処理・運搬

V =

=

m³/m

舗装版切断濁水処理

V =

=

m³/m

機械掘削工(会所掘部)

V = 0.600 × 1.120 × 1.000

=

0.672

0.672 m³/m

人力掘削工

V =

=

m³/m

山砂埋戻工

V = (0.600 × 0.520 - π / 4 × 0.220²) × 1.000

=

0.274

0.274 m³/m

発生土埋戻

V = 0.600 × 0.600 × 1.000

=

0.360

0.360 m³/m

残土処分工(土砂)

V = 掘削土量0.672 - 埋戻し土量0.360

=

0.312

0.312 m³/m

仮復旧

路盤工 t= cm

A =

=

m²/m

表層工 t= cm

A =

=

m²/m土留工 H=
(軽量金属製支保工 段)

L =

=

m/m

②歩道部		DIP (GX) φ 200 DP0. 42m	
名 称	略 図 及 び 計 算 式		数 量
②歩道部 φ 200 土被り 0. 42m 掘 削復 旧 表 層 工エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)-50 t= 3cm 路 盤 工砕石骨材 RC-40 t=10cm 凍上抑制層再生骨材 RC-40 t=15cm 復旧幅600 掘削深 740 520220200300 220200 100 掘削幅 600 DIP φ 200 (GX) 埋設シート発生土 機械掘削 山 砂 30100150280220200 計画土被り 700 土被り 420			
1 m 当たり数量			
As舗装切断 t= cm	L =	=	m/m
舗装版破碎掘削積込 t= cm	A =	=	m ² /m
廃材処理・運搬	V =	=	m ³ /m
舗装版切断濁水処理	V =	=	m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	V = 0. 600 × 0. 740 × 1. 000	= 0. 444	0. 444 m ³ /m
人力掘削工	V =	=	m ³ /m
山砂埋戻工	V = (0. 600 × 0. 520 − π / 4 × 0. 220 ²) × 1. 000	= 0. 274	0. 274 m ³ /m
発生土埋戻	V = 0. 600 × 0. 220 × 1. 000	= 0. 132	0. 132 m ³ /m
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量0. 444 − 埋戻し土量0. 132	= 0. 312	0. 312 m ³ /m
仮復旧			
路盤工 t= cm	A =	=	m ² /m
表層工 t= cm	A =	=	m ² /m
土留工 H= (軽量金属製支保工 段)	L =	=	m/m

DIP (GX) ϕ 200 DP0.92m

名 称	略 図 及 び 計 算 式	数 量
	③歩道部 φ200 土被り 0.92m 掘 削 復 旧 表 層 工 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)-50 t= 3cm 路 盤 工 砕石骨材 RC-40 t=10cm 凍上抑制層 再生骨材 RC-40 t=15cm 復旧幅600 掘削深 1.240 720 520 200 220 100 掘削幅 600 発生土 埋設シート 機械掘削 山砂 30 100 150 280 720 920 200 計画土被り 1.200 土被り 920 DIP φ200 (GX)	
	1 m当たり数量	
As舗装切断 t= cm	L =	= m/m
舗装版破碎掘削積込 t= cm	A =	= m ² /m
廃材処理・運搬	V =	= m ³ /m
舗装版切断濁水処理	V =	= m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	V = 0.600×1.240×1.000	= 0.744 0.744 m ³ /m
人力掘削工	V =	= m ³ /m
山砂埋戻工	V = (0.600×0.520－π／4×0.220 ²)×1.000	= 0.274 0.274 m ³ /m
発生土埋戻	V = 0.600×0.720×1.000	= 0.432 0.432 m ³ /m
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量0.744－埋戻し土量0.432	= 0.312 0.312 m ³ /m
仮復旧 路盤工 t= cm	A =	= m ² /m
表層工 t= cm	A =	= m ² /m
土留工 H= (軽量金属製支保工 段)	L =	= m/m

⑬不斷水分岐割T字管 $\phi 400 \times \phi 200$ DP1. 19m

名 称	略 図 及 び 計 算 式		数 量
	⑬不斷水分岐割T字管 $\phi 400 \times 200$ 1箇所 土被り 1. 19m		
	1 箇所当たり数量		
As舗装切断 t= cm	$L =$	$=$	m
舗装版破碎掘削積込 t= cm	$A =$	$=$	m ²
廃材処理・運搬	$V =$	$=$	m ³
舗装版切断濁水処理	$V =$	$=$	m ³
機械掘削工(会所掘部)	$V = (1. 700 \times 1. 100 + 1. 500 \times 1. 550) \times 0. 990$	$= 4. 153$	4. 153 m ³
人力掘削工	$V = 1. 700 \times 1. 100 \times 0. 610 + 1. 500 \times 1. 550 \times 0. 976$ $V_{2=} \pi / 4 \times 0. 426^2 \times 1. 550 \times -1$	$= 3. 410$ $= -0. 221$	
	合 計	$= 3. 189$	3. 189 m ³
山砂埋戻工	$V_{1=} 1. 700 \times 1. 100 \times 0. 610 + 1. 500 \times 1. 550 \times 0. 976$ $V_{2=} \pi / 4 \times 0. 426^2 \times 1. 550 \times -1$ $V_{3=} \pi / 4 \times 0. 220^2 \times 2. 261 \times -1$	$= 3. 410$ $= -0. 221$ $= -0. 086$	
	合 計	$= 3. 103$	3. 103 m ³
発生土埋戻	$V = (1. 700 \times 1. 100 + 1. 500 \times 1. 550) \times 0. 990$	$= 4. 153$	4. 153 m ³
残土処分工(土砂)	$V = \text{機械掘削} + \text{人力掘削土量} 7. 342 - \text{埋戻し土量} 4. 153$	$= 3. 410$	3. 410 m ³
仮復旧 路盤工 t= cm	$A =$	$=$	m ²
表層工 t= cm	$A =$	$=$	m ²
土留工 H=2. 10m (軽量金属製支保工 1段)	$L =$	$= 3. 200$	3. 200 m

⑭県道車道部(栓設置) $\phi 300$ DP0.80m

名 称	略 図 及 び 計 算 式			数 量
⑫県道車道部(栓設置) φ300 1箇所 土被り 0.80m L=2.00m 掘 削 復 旧 表 層 工 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)-50 t= 5cm 上層路盤工 粒調砕石 M0~40 t=15cm 下層路盤工 再生骨材 RC-40 t=20cm 掘削幅 2.000 掘削深 1.626 1箇所当たり数量 既設水道管 DIPφ400 DP1.20 計画地盤高より DP1.20 DIPφ300(K) 栓				
As舗装切断 t= cm	L =	=		m
舗装版破碎掘削積込 t= cm	A =	=		m ²
廃材処理・運搬	V =	=		m ³
舗装版切断濁水処理	V =	=		m ³
機械掘削工(会所掘部)	V = 2.000×2.000×0.600	= 2.400		2.400 m ³
人力掘削工	V ₋₁ = 2.000×2.000×1.026 V ₋₂ = π／4×0.426 ² ×2.000×－1	= 4.104 = -0.285		
	合 計	= 3.819		3.819 m ³
山砂埋戻工	V ₋₁ = 2.000×2.000×1.026 V ₋₂ = π／4×0.426 ² ×2.000×－1	= 4.104 = -0.285		
	合 計	= 3.819		3.819 m ³
発生土埋戻	V = 2.000×2.000×0.600	= 2.400		2.400 m ³
残土処分工(土砂) 仮復旧	V = 機械掘削+人力掘削土量6.219－埋戻し土量2.400	= 4.104		4.104 m ³
路盤工 t= cm	A =	=		m ²
表層工 t= cm	A =	=		m ²
土留工 H=1.80m (軽量金属製支保工 1段)	L =	= 2.000		2.000 m

配管材料集計表

L=32.02m

(DIP (GX) φ 200mm)

名 称	形状・寸法	単位	数 量			単位長	延 長
			本管	消火栓	計		
G X 形 直 管	S種管 φ 200 × 5.00	本	Σ = 5 1		Σ = 5 1	5.00	5.00
G X 形 切 管	S種管 φ 200 × 5.00	本 m	(4) 15.31		(4) 15.31	1.00	15.31
二 受 T 字 管	GX形 φ 200 × 200	個	2 2		2 2	0.17 0.64	0.34 1.28
二 受 T 字 管	GX形 φ 200 × 150	個	1		1	0.17 0.56	0.56
G X 形 曲 管	GX形 200 × 45°	個	7		7	0.53	3.71
G X 形 曲 管	GX形 φ 200 × 22 1/2°	個	2		2	0.45	0.90
G X 形 曲 管	GX形 φ 200 × 11 1/4°	個	1		1	0.41	0.41
GX 形 両 受 曲 管	GX形 φ 200 × 22 1/2°	個	2		2	0.16	0.32
G X 形 受 挿 し 片 落 管	GX形 200 × 150	個	1		1	0.42	0.42
G X 形 挿 し 受 片 落 管	GX形 200 × 150	個	2		2	0.44	0.88
両 受 短 管	GX形 φ 200	個	1		1	0.02	0.02
接 合 セ ッ ト	GX形 コム輪、押輪・T頭 φ 200 B・N共 異形管	個	18		18		
接 合 セ ッ ト	GX形 コム輪、押輪・T頭 φ 150 B・N共 異形管	個	1		1		
G X 形 G-Link	GX形 コム輪、ホルト・ナット共 φ 200	個	9		9		
G X 形 ラ イ ナ	GX形 φ 200	個	5		5	0.04	0.20
ダクタイル 鋳鉄管用 離 脱 防 止 押 輪	K形用 離脱防止力3DkN対応 φ 200	個	1		1		
K 形 栓	K形 φ 300	個	1		1		
不 断 水 分 岐 割 T 字 管	鋳鉄管用 (本バルブ付) φ 400 × 200 (K形受口)	基	1		1	0.58	0.58
G X 形 受 挿 ソフトシール 仕 切 弁	GX形 φ 200	基	3		3	0.61	1.83
G X 形 両 受 ソフトシール 仕 切 弁	GX形 φ 200	基	1		1	0.26	0.26
		個					
		個					
		個					
		個					
		個					
		個					
		個					
		個					
		個					
		個					
		個					
		個					
管 明 示 テ ー プ	幅30mm 長さ20m/個 年号入	m	26.5		26.5		
埋 設 標 示 シ ー ト	幅150mm ダブル	m	32.0		32.02		
管渠総延長 (ΣL)			総延長-仕切弁 32.02-2.67		29.35		32.02

配 管 労 務 集 計 表

(DIP (GX) ϕ 200mm)

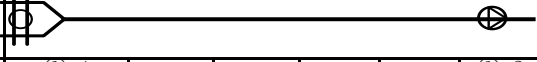
[illegible]

切管調書

L1～L3

DIP φ 200

定尺長= 5.00 m

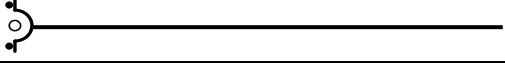
本数	甲切管 (m)	乙 切 管 (m)					有効長 (m)	残管長 (m)	挿口加工	切断工・ 溝切工	切断工 のみ	溝切工 のみ
		1	2	3	4	5						
												
1	①-1 GX K 0.76					①-2 2.01	2.77	2.23			2	
2	②-1 GX G 4.01					②-2 G GX 0.86	4.87	0.13			2	
3	③-1 GX G 0.96				③-3 G G 1.15	③-2 G GX 1.69	3.80	1.20			3	
4	④-1 GX G 2.36					④-2 G GX 1.51	3.87	1.13			2	
小計							15.31	4.69			9	

切管調書

DIP (K) φ 200

(3種管)

定尺長= 5.00 m

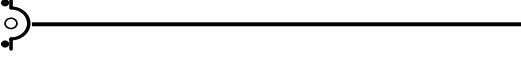
本数	甲切管 (m)	乙 切 管 (m)					有効長 (m)	残管長 (m)	挿口加工	切断工・ 溝切工	切断工 のみ	溝切工 のみ
		1	2	3	4	5						
												
小計												

切管調書

DIP (K) φ 200

(1種管)

定尺長= 5.00 m

本数	甲切管 (m)	乙 切 管 (m)					有効長 (m)	残管長 (m)	挿口加工	切断工・ 溝切工	切断工 のみ	溝切工 のみ
		1	2	3	4	5						
												
小計												
合計							15.31	4.69			9	

切管用定尺管本数 (GX形)

4 本

切管用定尺管本数 (K形)

本

GX継手挿口加工 (φ 150)

口

鋳鉄管切断・溝切加工 (φ 150)

口

鋳鉄管切断工 (φ 150)

9 口

鋳鉄管溝切加工 (φ 150)

口

2. DIP (GX) ϕ 150

布設工 L= 52.79 m

(既設管接續部L=2.00m含ず)

[illegible]

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
名 称	④県道車道部+既設管接続部 L= 4.28 m (DP0.65)			
	L = 2.28 + 2.00 + + + + +	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値
A. 機械掘削 (会所掘含)	4.280 × 0.551		2.358	2.358 m3
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	4.280 × 0.259		1.109	1.109 m3
D. 発生土埋戻	4.280 × 0.270		1.156	1.156 m3
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	4.280 × 0.281		1.203	1.203 m3
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段				
a. 軽量鋼矢板建込み				H=2.10
b. 軽量金属製支保工2段				
c. 区画線				実線 白 W=15cm

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
名 称	⑤県道車道部 L= 6.83 m (DP0.80)			
	L = 6.83 + + +	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘含)	6.830 × 0.641	4.378	4.378 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	6.830 × 0.259	1.769	1.769 m3	
D. 発生土埋戻	6.830 × 0.360	2.459	2.459 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	6.830 × 0.281	1.919	1.919 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段				
a. 軽量鋼矢板建込み				H=2.10
b. 軽量金属製支保工2段				
c. 区画線				実線 白 W=15cm

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
名 称	⑥県道車道部 L= 3.33 m (DP1.73)			
	L = 3.33 +	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値
A. 機械掘削 (会所掘含)		3.330 × 1.999	6.657	6.657 m3
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻		3.330 × 0.447	1.489	1.489 m3
D. 発生土埋戻		3.330 × 1.530	5.095	5.095 m3
E. ダンプトラック運搬 (発生土)		3.330 × 0.469	1.562	1.562 m3
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段		3.330 × 1.000	3.330	3.330 m
a. 軽量鋼矢板建込み		3.330 × 1.000	3.330	3.330 m
b. 軽量金属製支保工2段				H=2.10
c. 区画線				実線 白 W=15cm

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
名 称	⑦歩道部 L= 27.53 m (DP0.42)			
	L = 1.14 + 4.37 + 2.25 + 1.99 + 0.41 + 17.37 + + +			
	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘含)	27.530 × 0.413	11.370	11.370 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	27.530 × 0.259	7.130	7.130 m3	
D. 発生土埋戻	27.530 × 0.132	3.634	3.634 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	27.530 × 0.281	7.736	7.736 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段				
a. 軽量鋼矢板建込み				H=2.10
b. 軽量金属製支保工2段				
c. 区画線				実線 白 W=15cm

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
名 称	⑧歩道部 L= 2.12 m (DP0.92)			
	L = 2.12 + + + + +	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値
A. 機械掘削 (会所掘含)		2.120 × 0.713	1.512	1.512 m3
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻		2.120 × 0.259	0.549	0.549 m3
D. 発生土埋戻		2.120 × 0.432	0.916	0.916 m3
E. ダンプトラック運搬 (発生土)		2.120 × 0.281	0.596	0.596 m3
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As (20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As (13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段				
a. 軽量鋼矢板建込み				H=2.10
b. 軽量金属製支保工2段				
c. 区画線				実線 白 W=15cm

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
名 称	⑮県道車道部(栓設置)			
	L= 1.00 m N= 1.00 箇所 (DP0.55)			
	N = 1.00 + + +	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値
				備考
A. 機械掘削 (会所掘削)	1.000 × 0.350	0.350	0.350 m3	
B. 人力掘削	1.000 × 0.647	0.647	0.647 m3	
C. 山砂埋戻	1.000 × 0.647	0.647	0.647 m3	
D. 発生土埋戻	1.000 × 0.350	0.350	0.350 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	1.000 × 0.669	0.669	0.669 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版破碎掘削・積込 (バックホウ) t=17cm				アスファルト舗装版 舗装版厚40cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚30cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
U. 凍上抑制層				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段				
a. 区画線				実線 白 W=15cm
b. 区画線				実線 黄 W=15cm
c. 区画線				矢印・記号・文字 15cm換算

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
名 称	⑩水管橋部 L = 2.18 + 0.97 + + L= 3.15 m (DP0.44)			
	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘含)	3.150 × 0.484	1.525	1.525 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	3.150 × 0.284	0.895	0.895 m3	
D. 発生土埋戻	3.150 × 0.144	0.454	0.454 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	3.150 × 0.340	1.071	1.071 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ® 再生密粒As (20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ® 再生密粒As (13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段				
a. 軽量鋼矢板建込み				H=2.10
b. 軽量金属製支保工2段				
c. 区画線				実線 白 W=15cm

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
名 称	⑰水管橋接続部 L= 2.3 m (DP0.65)			
	L = 0.60 + 1.70 + +	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘含)	2.300 × 0.549	1.263	1.263 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻	2.300 × 0.258	0.593	0.593 m3	
D. 発生土埋戻	2.300 × 0.270	0.621	0.621 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	2.300 × 0.279	0.642	0.642 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=12cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm超15cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚20cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
U. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As (20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As (13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み				H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段				
a. 軽量鋼矢板建込み				H=2.10
b. 軽量金属製支保工2段				
c. 区画線				実線 白 W=15cm

口径・工種別土工数量計算表

2 DIP(GX) φ 150mm				
		L= 3.25 m		
名 称	⑨歩道部(レジコン弁室設置工)		N= 1.00 箇所 (DP0.42)	
	N = 1.00 + +			
	計算式 (距離×基本数値)	面積・体積	計上数値	備考
A. 機械掘削 (会所掘削)	1.000 × 11.264	11.264	11.264 m3	
B. 人力掘削				
C. 山砂埋戻				
D. 発生土埋戻	1.000 × 8.348	8.348	8.348 m3	
E. ダンプトラック運搬 (発生土)	1.000 × 2.916	2.916	2.916 m3	
F. ダンプトラック運搬 (アスファルト塊)				
G. アスファルト廃材処理				
H. ダンプトラック運搬 (コンクリート塊)				
I. コンクリート廃材処理				
J. 舗装版切断濁水処理				
K. 舗装版破碎掘削・積込 (バックホウ) t=17cm				アスファルト舗装版 舗装版厚40cm以下
L. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=5cm				アスファルト舗装版 舗装版厚10cm以下
M. 舗装版直接掘削・積込 (バックホウ) t=10cm				コンクリート舗装版 舗装版厚10cm以下
N. As舗装版切断				舗装版切断深 t=30cmまで
O. As舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
P. Co舗装版切断				舗装版切断深 t=15cmまで
Q. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚65cm
R. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚35cm
S. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚30cm
T. 路盤工				再生骨材 RC-40 路盤厚10cm
U. 凍上抑制層				再生骨材 RC-40 路盤厚15cm
V. コンクリート打設				18-8-25N 舗装厚10cm
W. 復旧工：表層工 (車道・人力施工)				エコスラグ 再生密粒As(20)-50 舗装厚5cm
X. 復旧工：表層工 (歩道・機械施工)				エコスラグ 再生密粒As(13)-50 舗装厚3cm
Y. 軽量鋼矢板建込み	1.000 × 3.250	3.250	3.250 m	H=1.80
Z. 軽量金属製支保工1段	1.000 × 3.250	3.250	3.250 m	
a. 区画線				実線 白 W=15cm
b. 区画線				実線 黄 W=15cm
c. 区画線				矢印・記号・文字 15cm換算

④県道車道部+
既設管接続部

DIP (GX) φ 150 DP0.65m

名 称	略 図 及 び 計 算 式		数 量
④県道車道部+既設管接続部 φ 150 土被り 0.65m 掘 削 復 旧 表 層 工 エコスラグ入り再生密粒度アスコン (20)-50 t= 5cm 上層路盤工 粒調碎石 M0~40 t=15cm 下層路盤工 再生骨材 RC-40 t=20cm 復旧幅600 掘削深 919 450 469 200 169 100 機械掘削 発生土 (RC100) 埋設シート 山 砂 掘削幅 600 1 m 当たり数量 50 150 200 400 450 200 650 計画土被り 1,050 土被り DIP φ 150 (GX)			
As舗装切断 t= cm	L =	=	m/m
舗装版直接掘削積込 t= cm	A =	=	m ² /m
廃材処理・運搬	V =	=	m ³ /m
舗装版切断濁水処理	V =	=	m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	V = 0.600×0.919×1.000	= 0.551	0.551 m ³ /m
人力掘削工	V =	=	m ³ /m
山砂埋戻工	V = (0.600×0.469－π／4×0.169 ²)×1.000	= 0.259	0.259 m ³ /m
発生土埋戻	V = 0.600×0.450×1.000	= 0.270	0.270 m ³ /m
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量0.551－埋戻し土量0.270	= 0.281	0.281 m ³ /m
仮復旧 路盤工 t= cm	A =	=	m ² /m
表層工 t= cm	A =	=	m ² /m
土留工 H= (軽量金属製支保工 段)	L =	=	m/m

⑤県道車道部 DIP (GX) φ 150 DP0.80m											
名 称	略 図 及 び 計 算 式	数 量									
	⑤県道車道部 φ 150 土被り 0.80m 掘 削 復 旧 <table border="1" style="font-size: 0.8em; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>表 層 工</td><td>エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)~50</td><td>t= 5cm</td></tr> <tr> <td>上層路盤工</td><td>粒調砕石 M0~40</td><td>t=15cm</td></tr> <tr> <td>下層路盤工</td><td>再生骨材 RC-40</td><td>t=20cm</td></tr> </table> 1 m 当たり数量	表 層 工	エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)~50	t= 5cm	上層路盤工	粒調砕石 M0~40	t=15cm	下層路盤工	再生骨材 RC-40	t=20cm	
表 層 工	エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)~50	t= 5cm									
上層路盤工	粒調砕石 M0~40	t=15cm									
下層路盤工	再生骨材 RC-40	t=20cm									
As舗装切断 t= cm	L =	= m/m									
舗装版直接掘削積込 t= cm	A =	= m ² /m									
廃材処理・運搬	V =	= m ³ /m									
舗装版切断濁水処理	V =	= m ³ /m									
機械掘削工(会所掘部)	V = 0.600 × 1.069 × 1.000	= 0.641 0.641 m ³ /m									
人力掘削工	V =	= m ³ /m									
山砂埋戻工	V = (0.600 × 0.469 - π / 4 × 0.169 ²) × 1.000	= 0.259 0.259 m ³ /m									
発生土埋戻	V = 0.600 × 0.600 × 1.000	= 0.360 0.360 m ³ /m									
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量0.641 - 埋戻し土量0.360	= 0.281 0.281 m ³ /m									
仮復旧 路盤工 t= cm	A =	= m ² /m									
表層工 t= cm	A =	= m ² /m									
土留工 H= (軽量金属製支保工 段)	L =	= m/m									

⑥県道車道部		DIP (GX) φ150 DP1.73m	
名 称	略 図 及 び 計 算 式		数 量
⑥県道車道部 φ150 土被り 1.73m 掘 削 復 旧			
1 m 当たり数量			
As舗装切断 t= cm	L =	=	m/m
舗装版直接掘削積込 t= cm	A =	=	m ² /m
廃材処理・運搬	V =	=	m ³ /m
舗装版切断濁水処理	V =	=	m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	V = 1.000 × 1.999 × 1.000	= 1.999	1.999 m ³ /m
人力掘削工	V =	=	m ³ /m
山砂埋戻工	V = (1.000 × 0.469 − π / 4 × 0.169 ²) × 1.000	= 0.447	0.447 m ³ /m
発生土埋戻	V = 1.000 × 1.530 × 1.000	= 1.530	1.530 m ³ /m
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量1.999 − 埋戻し土量1.530	= 0.469	0.469 m ³ /m
仮復旧 路盤工 t= cm	A =	=	m ² /m
表層工 t= cm	A =	=	m ² /m
土留工 H=2.10m (軽金属製支保工 1段)	L =	= 1.000	1.000 m/m

⑦歩道部 DIP (GX) φ 150 DP0.42m											
名 称	略 図 及 び 計 算 式	数 量									
	⑦歩道部 φ 150 土被り 0.42m 掘 削 復 旧 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">表 層 工</td><td style="padding: 2px 5px;">エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)-50</td><td style="padding: 2px 5px;">t= 3cm</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">路 盤 工</td><td style="padding: 2px 5px;">砕石骨材 RC-40</td><td style="padding: 2px 5px;">t=10cm</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">凍上抑制層</td><td style="padding: 2px 5px;">再生骨材 RC-40</td><td style="padding: 2px 5px;">t=15cm</td></tr> </table> DIP φ 150 (GX)	表 層 工	エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)-50	t= 3cm	路 盤 工	砕石骨材 RC-40	t=10cm	凍上抑制層	再生骨材 RC-40	t=15cm	
表 層 工	エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)-50	t= 3cm									
路 盤 工	砕石骨材 RC-40	t=10cm									
凍上抑制層	再生骨材 RC-40	t=15cm									
	1 m 当たり数量										
As舗装切断 t= cm	L =	= m/m									
舗装版直接掘削積込 t= cm	A =	= m ² /m									
廃材処理・運搬	V =	= m ³ /m									
舗装版切断濁水処理	V =	= m ³ /m									
機械掘削工(会所掘部)	V = 0.600×0.689×1.000	= 0.413 0.413 m ³ /m									
人力掘削工	V =	= m ³ /m									
山砂埋戻工	V = (0.600×0.469－π／4×0.169 ²)×1.000	= 0.259 0.259 m ³ /m									
発生土埋戻	V = 0.600×0.220×1.000	= 0.132 0.132 m ³ /m									
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量0.413－埋戻し土量0.132	= 0.281 0.281 m ³ /m									
仮復旧 路盤工 t= cm	A =	= m ² /m									
表層工 t= cm	A =	= m ² /m									
土留工 H= (軽量金属製支保工 段)	L =	= m/m									

⑧歩道部		DIP (GX) φ 150 DP0.92m	
名 称	略 図 及 び 計 算 式		数 量
⑧歩道部 φ 150 土被り 0.92m 掘 削 復 旧 表 層 工 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)-50 t= 3cm 路 盤 工 砕石骨材 RC-40 t=10cm 床 上 抑制層 再生骨材 RC-40 t=15cm 復旧幅600 発生土 埋設シート 機械掘削 山 砂 DIP φ 150 (GX) 掘削幅 600 掘削深 1.189 720 469 200 300 169 100 30 150 280 720 920 200 土被り 0.92 計画土被り 1.200			
1 m 当たり数量			
As舗装切断 t= cm	L =	=	m/m
舗装版直接掘削積込 t= cm	A =	=	m ² /m
廢材処理・運搬	V =	=	m ³ /m
舗装版切断濁水处理	V =	=	m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	V = 0.600 × 1.189 × 1.000	= 0.713	0.713 m ³ /m
人力掘削工	V =	=	m ³ /m
山砂埋戻工	V = (0.600 × 0.469 - π / 4 × 0.169 ²) × 1.000	= 0.259	0.259 m ³ /m
発生土埋戻	V = 0.600 × 0.720 × 1.000	= 0.432	0.432 m ³ /m
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量0.713 - 埋戻し土量0.432	= 0.281	0.281 m ³ /m
仮復旧 路盤工 t= cm	A =	=	m ² /m
表層工 t= cm	A =	=	m ² /m
土留工 H= (軽量金属製支保工 段)	L =	=	m/m

⑮県道車道部(栓設置) $\phi 150$ DP0.55m

名 称	略 図 及 び 計 算 式		数 量
⑮県道車道部(栓設置) $\phi 150$ 1箇所 土被り 0.55m L=1.00m 掘 削 復 旧 表 層 工 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)-50 t= 5cm 上層路盤工 粒調碎石 M0~40 t=15cm 下層路盤工 再生骨材 RC-40 t=20cm 復旧幅 1,000 掘削深 1,019 350 669 169 200 300 1,000 50 150 200 400 350 200 550 950 既設土被り 発生土 (RC100) 機械掘削 山 砂 人力掘削 既設水道管 DIP$\phi 150$ DP0.85 計画地盤高より DP0.95 DIP$\phi 150$(K) 栓			
1 箇所当たり数量			
As舗装切断 t= cm	$L =$	$=$	m
舗装版直接掘削積込 t= cm	$A =$	$=$	m ²
廃材処理・運搬	$V =$	$=$	m ³
舗装版切断濁水処理	$V =$	$=$	m ³
機械掘削工(会所掘部)	$V = 1.000 \times 1.000 \times 0.350$	$= 0.350$	0.350 m ³
人力掘削工	$V = 1.000 \times 1.000 \times 0.669$ $V_{2'} = \pi / 4 \times 0.169^2 \times 1.000 \times -1$	$= 0.669$ $= -0.022$	
	合 計	$= 0.647$	0.647 m ³
山砂埋戻工	$V_{1'} = 1.000 \times 1.000 \times 0.669$ $V_{2'} = \pi / 4 \times 0.169^2 \times 1.000 \times -1$	$= 0.669$ $= -0.022$	
	合 計	$= 0.647$	0.647 m ³
発生土埋戻	$V = 1.000 \times 1.000 \times 0.350$	$= 0.350$	0.350 m ³
残土処分工(土砂) 仮復旧	$V = \text{機械掘削} + \text{人力掘削土量} 0.997 - \text{埋戻し土量} 0.350$	$= 0.669$	0.669 m ³
路盤工 t= cm	$A =$	$=$	m ²
表層工 t= cm	$A =$	$=$	m ²
土留工 H =1.80m (軽量金属製支保工 1段)	$L =$	$=$	m

⑩水管橋部 φ 150 (外装管 SUS-SDP) 平均DP0.44m		
名 称	略 図 及 び 計 算 式	数 量
	⑩水管橋部 φ 150 (外装管 SUS-SDP) 平均土被り 0.44m $(0.456+0.419)/2=0.438 \div 0.440$ 掘 削 復 旧 1 m 当たり数量	
As舗装切断 t= cm	L =	= m/m
舗装版直接掘削積込 t= cm	A =	= m ² /m
廃材処理・運搬	V =	= m ³ /m
舗装版切断濁水処理	V =	= m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	V = 0.600 × 0.807 × 1.000	= 0.484 0.484 m ³ /m
人力掘削工	V =	= m ³ /m
山砂埋戻工	V = (0.600 × 0.567 - π / 4 × 0.267 ²) × 1.000	= 0.284 0.284 m ³ /m
発生土埋戻	V = 0.600 × 0.240 × 1.000	= 0.144 0.144 m ³ /m
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量0.484 - 埋戻し土量0.144	= 0.340 0.340 m ³ /m
仮復旧 路盤工 t= cm	A =	= m ² /m
表層工 t= cm	A =	= m ² /m
土留工 H= (軽量金属製支保工 段)	L =	= m/m

⑰水管橋接続部 φ 150 (SUS304TP) 平均DP0. 65m		
名 称	略 図 及 び 計 算 式	数 量
	⑰水管橋接続部 φ 150 (SUS304TP) 平均土被り 0. 65m $(0. 661+0. 630)/2=0. 646\approx0. 650$ 掘 削 復 旧 1 m 当たり数量	
As舗装切断 t= cm	L =	= m/m
舗装版直接掘削積込 t= cm	A =	= m ² /m
廃材処理・運搬	V =	= m ³ /m
舗装版切断濁水処理	V =	= m ³ /m
機械掘削工(会所掘部)	V = 0. 600×0. 915×1. 000	= 0. 549 0. 549 m ³ /m
人力掘削工	V =	= m ³ /m
山砂埋戻工	V = $(0. 600\times0. 465-\pi/4\times0. 165^2)\times1. 000$	= 0. 258 0. 258 m ³ /m
発生土埋戻	V = 0. 600×0. 450×1. 000	= 0. 270 0. 270 m ³ /m
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量0. 549－埋戻し土量0. 270	= 0. 279 0. 279 m ³ /m
仮復旧 路盤工 t= cm	A =	= m ² /m
表層工 t= cm	A =	= m ² /m
土留工 H= (軽量金属製支保工 段)	L =	= m/m

名 称	略 図 及 び 計 算 式	数 量
	表 層 エ コスラグラ入り再生骨料層アスコン(13)-50 t=30m 底 層 エ 砕石骨材 RC-40 t=100m 床土層 再生骨材 RC-40 t=150m	
	表 層 エ コスラグラ入り再生骨料層アスコン(13)-50 t=30m 底 層 エ 砕石骨材 RC-40 t=100m 床土層 再生骨材 RC-40 t=150m	
	表 層 エ コスラグラ入り再生骨料層アスコン(13)-50 t=30m 底 層 エ 砕石骨材 RC-40 t=100m 床土層 再生骨材 RC-40 t=150m	
	表 層 エ コスラグラ入り再生骨料層アスコン(13)-50 t=30m 底 層 エ 砕石骨材 RC-40 t=100m 床土層 再生骨材 RC-40 t=150m	

名 称	略 図 及 び 計 算 式		数 量
	1 箇所当たり数量		
As舗装切断 t= cm			m
舗装版直接掘削積込			m ²
廃材処理・運搬			m ³
舗装版切断濁水処理			m ³
機械掘削工	$V = \frac{2.390 \times 3.250 \times 1.405 + 1.800 \times 1.300 \times 0.150}{0.150}$	= 11.264	11.264 m ³
人力掘削工	V =	=	m ³
山砂埋戻工	V =	=	m ³
発生土埋戻	$V = \frac{2.390 \times 3.250 \times 1.405 - (1.590 \times 1.090 \times 1.355 + 1.800 \times 1.300 \times 0.050 + 0.500 \times 0.500 \times 0.200 \times 2)}{0.200}$	= 8.348	8.348 m ³
残土処分工(土砂)	V = 掘削土量11.264－埋戻し土量8.348	= 2.916	2.916 m ³
路盤工 t= cm	A =	=	m ²
表層工 t= cm	A =	=	m ²
土留工 H=1.80 (軽量金属製支保工1段)	L =	= 3.250	3.250 m

配管材料集計表

L=40.77m

(DIP (GX) φ150mm)

名 称	形状・寸法	単位	数 量			単位長	延 長
			本管	消火栓	計		
G X 形 直 管	S種管 φ 150 × 5.00	本	Σ = 9 2		Σ = 9 2	5.00	10.00
G X 形 切 管	S種管 φ 150 × 5.00	本 m	(7) 24.41		(7) 24.41	1.00	24.41
二 受 T 字 管	GX形 φ 200 × 150	個	1		1	0.17 0.58	0.17
G X 形 曲 管	GX形 150 × 45°	個	7		7	0.47	3.29
G X 形 曲 管	GX形 φ 150 × 22 1/2°	個	2		2	0.41	0.82
G X 形 曲 管	GX形 φ 150 × 11 1/4°	個	1		1	0.37	0.37
GX 形 両 受 曲 管	GX形 φ 150 × 45°	個	4		4	0.20	0.80
GX 形 両 受 曲 管	GX形 φ 150 × 22 1/2°	個	1		1	0.14	0.14
短 管 1 号	GX形 φ 150	個	2		2	0.09	0.18
G X 形 継 輪	GX形 φ 150	個	1		1	0.24	0.24
接 合 セ ッ ト	GX形 コム輪、押輪・T頭 φ 150 B・N共 異形管	個	11		11		
G X 形 G-Link	GX形 コム輪、ホルト・ナット共 φ 150	個	25		25		
G X 形 ラ イ ナ	GX形 φ 150	個	8		8	0.04	0.32
K 形 栓	K形 φ 150	個	1		1		
フ ラ ン ジ 短 管	DIP用 φ 150	個	1		1	0.30	0.30
合 フ ラ ン ジ	φ 150	個	3		3		
フ ラ ン ジ 接 合 材	φ 150 芯金入りパッキン、ステン レスボルト・ナット共	組	3		3		
伸 縮 可 と う 継 手	SUS形 φ 150	個	1		1	0.20	0.20
伸 縮 可 と う 管	GX形 U×U φ 150 偏心量200mm	個	1		1	0.86	0.86
伸 縮 可 と う 管	GX形 U×S φ 150 偏心量200mm	個	1		1	1.14	1.14
橋 梁 部 接 合 用 部 品 付 伸 縮 可 と う 管	GX形 U×S φ 150 偏心量200mm	個	2		2	1.14	2.28
G X 形 受 挿 ソフトシール 仕 切 弁	GX形 φ 150	基				0.55	
G X 形 両 受 ソフトシール 仕 切 弁	GX形 φ 150	基	2		2	0.22	0.44
HPPE × DIP 用 T 字 管	HPPE×DIP変換ソケット付 φ 150 × 150	個	1		1	0.32 0.25	0.32
HPPE 継 ぎ 輪	HPPE用 φ 150	個	1		1	0.03	
管 明 示 テ ー プ	幅30mm 長さ20m/個 年号入	m	29.5		29.5		
埋 設 標 示 シ ー ト	幅150mm ダブル	m	46.3		46.3		
管渠総延長 (ΣL)			総延長-仕切弁 46.28 - 0.44		45.84		46.28

配 管 労 務 集 計 表

(DIP (GX) ϕ 150mm)

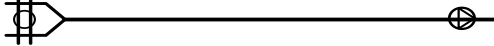
[illegible]

切管調書

L4・L5(A)・L5(B)・L6

DIP φ 150

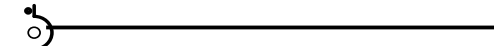
定尺長= 5.00 m

本数	甲切管 (m)	乙 切 管 (m)					有効長 (m)	残管長 (m)	挿口加工	切断工・ 溝切工	切断工 のみ	溝切工 のみ
		1	2	3	4	5						
												
1	①-1 GX G 1.00			①-4 G G 1.00	①-3 G G 1.20	①-2 G GX 1.10	4.30	0.70			4	
2	②-1 GX G 0.68			②-4 G G 1.07	②-3 G G 1.33	②-2 G GX 1.12	4.20	0.80			4	
3	③-1 GX G 0.81			③-4 G G 0.77	③-3 G G 1.17	③-2 G GX 2.04	4.79	0.21			4	
4	④-1 GX K 2.76					④-2 G GX 2.00	4.76	0.24			2	
5	⑤-1 GX G 3.75					⑤-2 G GX 0.95	4.70	0.30			2	
6	⑥-1 GX G 0.70						0.70	4.30			1	
7	⑦-1 GX G 0.96						0.96	4.04			1	
小計							24.41	10.59	0	0	18	0

切管調書

DIP (K) φ 150 (3種管)

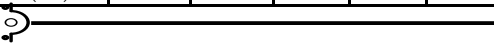
定尺長= 5.00 m

本数	甲切管 (m)	乙 切 管 (m)					有効長 (m)	残管長 (m)	挿口加工	切断工・ 溝切工	切断工 のみ	溝切工 のみ
		1	2	3	4	5						
												
小計							0.00	0.00	0	0	0	0

切管調書

DIP (K) φ 150 (1種管)

定尺長= 5.00 m

本数	甲切管 (m)	乙 切 管 (m)					有効長 (m)	残管長 (m)	挿口加工	切断工・ 溝切工	切断工 のみ	溝切工 のみ
		1	2	3	4	5						
												
小計							0.00	0.00	0	0	0	0
合計							24.41	10.59	0	0	18	0

切管用定尺管本数 (GX形)	7 本
切管用定尺管本数 (K形)	0 本
GX継手挿口加工 (φ 150)	0 口
鋳鉄管切断・溝切加工 (φ 150)	0 口
鋳鉄管切断工 (φ 500)	18 口
鋳鉄管溝切加工 (φ 150)	0 口

明示テープ算出表

DIP(GX)管	外径	円周率	巻数	胴巻テープの間隔	布設延長	延長(m)
φ75	0.093	3.14	1.50	1本(4m)あたり3カ所	0.00	0.00
φ100	0.118	3.14	1.50		0.00	0.00
φ150	0.169	3.14	1.50	1本(5m)あたり4カ所	46.28	29.47
φ200	0.220	3.14	1.50		32.02	26.54
φ250	0.272	3.14	1.50		0.00	0.00
φ300	0.323	3.14	1.50	1本(6m)あたり4カ所	0.00	0.00
合計						56.01

※管径350mm以下は胴巻テープのみ。

管長4m以下の管は、管の両端から15～20cmならびに中間1カ所。

管長5～6mの管は、管の両端から15～20cmならびに中間2カ所。

HPPE管	外径	円周率	巻数	胴巻テープの間隔	布設延長	延長(m)
φ75	0.090	3.14	1.50	1本（5m）あたり4カ所	0.00	0.00
φ100	0.125	3.14	1.50		0.00	0.00
φ150	0.180	3.14	1.50		0.00	0.00
φ200	0.250	3.14	1.50		0.00	0.00
φ250	0.315	3.14	1.50		0.00	0.00
φ300	0.355	3.14	1.50		0.00	0.00
合計						0.00

※管径350mm以下は胴巻テープのみ。

管長4m以下の管は、管の両端から15～20cmならびに中間1カ所。

管長5～6mの管は、管の両端から15～20cmならびに中間2カ所。

PP管(1種二層管)	外径	円周率	巻数	胴巻テープの間隔	布設延長	延長(m)
φ13	0.022	3.14	1.50	2m以下で貼付け	0.00	0.00
φ20	0.027	3.14	1.50		0.00	0.00
φ25	0.034	3.14	1.50		0.00	0.00
φ30	0.042	3.14	1.50		0.00	0.00
φ40	0.048	3.14	1.50		0.00	0.00
φ50	0.060	3.14	1.50		0.00	0.00
合計						0.00

※管径350mm以下は胴巻テープのみ。

貼付け間隔が2m以上にならないようカ所を増加する。

配管材料集計表

(仕切弁設置)

[illegible]

配 管 労 務 集 計 表

(仕切弁設置)

[illegible]

(SUS304TP 150A)

(SUS304TP 150A)

配 管 勞 務 集 計 表

(水管橋)

[illegible]

[illegible]

名 称	防護コンクリート	縮尺 1:	番号 :
平面図 平面図 土工 水管橋部 断面図 断面図 水管橋接続部			
名称・規格	算 式	数 量	単位
コンクリート 18N	1式 (2箇所) 当たり算出		
	$V_{-1} = \frac{(1.10 + 0.10) \times 0.50 \times 0.50 - \pi / 4 \times 0.165^2 \times (1.10 + 0.10)}{(1.10 + 0.10)} = 0.274$		
	$V_{-2} = \frac{(0.97 + 2.18) \times 0.50 \times 0.50 - \pi / 4 \times 0.267^2 \times (0.97 + 2.18)}{(0.97 + 2.18)} = 0.611$		
	合 計 = 0.885	0.89	m ³
型枠	$A_{-1} = 0.50 \times 0.50 \times 3 + 0.50 \times (2.07 + 2.28) \times 2 = 5.100$		
	$A_{-2} = (\pi / 4 \times 0.267^2 \times 1 + \pi / 4 \times 0.165^2 \times 2) \times -1 = -0.099$		
	合 計 = 5.001	5.00	m ²
基礎砕石 RC40 t=10cm	$A = (2.07 + 2.28) \times 0.50 = 2.175$	2.2	m ²
土工 掘削増分	$V = 0.07 \times (0.97 + 2.18) + 0.10 \times (1.10 + 0.10) = 0.341$	0.341	m ³
山砂控除	$V = 0.19 \times (2.07 + 2.28) \times -1 = -0.827$	-0.827	m ³
発生土埋戻分	$V = 0.01 \times (0.97 + 2.18) + 0.02 \times (1.10 + 0.10) = 0.056$	0.056	m ³

(レジコンクリート弁室設置)

[illegible]

名 称 レジンコンクリート弁室 縮尺 1: 番号:

図面番号: 1.551

図面内容: レジンコンクリートボックス、調整リング、脱着ステップ、埋め込みステップ、親子鉄蓋（簡易防水タイプ）、均しコンクリート、基礎砕石 RC40

図面サイズ: 1.551 x 1.455

図面単位: mm

図面比例尺: 1:1

図面説明: 1式（1箇所）当たり算出

図面内容: レジンコンクリートボックス、調整リング、脱着ステップ、埋め込みステップ、親子鉄蓋（簡易防水タイプ）、均しコンクリート、基礎砕石 RC40

図面サイズ: 1.551 x 1.455

図面単位: mm

図面比例尺: 1:1

図面説明: 1式（2箇所）当たり算出

名称・規格	算 式	数 量	単位
1式（1箇所） 当たり算出			
レジンコン弁室			
レジンコンクリートボックス	1000W*1500L*1200H	1.0	式
調整リング	φ 1120*φ 900*150H	1.0	個
脱着ステップ	SUS製	1.0	個
埋め込みステップ	SUS製（樹脂被覆）	3.0	個
親子鉄蓋（簡易防水タイプ）	φ 900*φ 600	1.0	組
均しコンクリート	$V = 1.800 \times 1.300 \times 0.050$	0.1	m^3
18-8-25N			
均し型枠	$A = 1.800 \times 0.050 \times 2 + 1.300 \times 0.050 \times 2$	0.3	m^2
基礎砕石 RC40	$A = 1.800 \times 1.300$	2.3	m^2
t=15cm			
1式（2箇所） 当たり算出			
防護コンクリート			
コンクリート 18N	$V = ((0.50 \times 0.50 \times 0.20) - (\pi / 4 \times 0.169^2 \times 0.20)) \times 2$	0.1	m^3
型枠	$A_{1=} 0.50 \times 0.50 \times 2 + 0.50 \times 0.20 \times 6$	1.100	
	$A_{2=} \pi / 4 \times 0.169^2 \times 2 \times -1$	-0.045	
	小 計 =	1.055	m^2

軽量鋼矢板土留使用数量

土留工最大延長部 3.25

φ 200	⑭県道車道部(栓設置)	1.00			1.00	1.0
					0.00	
					0.00	
φ 150	⑰歩道部(レジコン弁室設置工)	3.25			3.25	3.3
					0.00	
φ 75					0.00	0.0
					0.00	
					0.00	

合計 = 4.3

①H=1.8m

L=3.25m

軽量鋼矢板 : $3.25 \div 0.25 = 13.0 = 13$ 枚使用(片側)
 腹 起 し : $3.25 \div 4.00 = 0.8 = 1$ 本使用(片側)
 切 り 梁 : $1 \times 2 = 2$ 本使用(腹起し1本に2本使用)

軽量鋼矢板土留使用重量

①H=1.8m

L=3.25m

	使用数量	高さ	単位重量	
軽量鋼矢板 :	13 × 2	× 2.0	× 10.4	= 540.8 kg
腹 起 し :	1 × 2	× 38.6		= 77.2 kg
切 り 梁 :	2 × 3.2			= 6.4 kg
合計				624.4 kg
				0.6 t

軽量鋼矢板土留使用数量

土留工最大延長部 3.33

φ 200	⑬不断水分岐割T字管	3.20			3.20	3.2
					0.00	
					0.00	
φ 150	⑥県道車道部	3.33			3.33	3.3
					0.00	
φ 75					0.00	0.0
					0.00	
					0.00	

合計 = 6.5

①H=2.1m

L=3.33m

軽量鋼矢板 : $3.33 \div 0.25 = 13.3 = 14$ 枚使用(片側)
 腹 起 し : $3.33 \div 4.00 = 0.8 = 1$ 本使用(片側)
 切 り 梁 : $1 \times 2 = 2$ 本使用(腹起し1本に2本使用)

軽量鋼矢板土留使用重量

①H=2.1m

L=3.33m

	使用数量	高さ	単位重量		
軽量鋼矢板 :	14 × 2	× 2.0	× 10.4	=	582.4 kg
腹 起 し :	1 × 2	× 38.6		=	77.2 kg
切 り 梁 :	2 × 3.2			=	6.4 kg
合計					666.0 kg
					0.7 t
					1,290.4 kg
					1.3 t